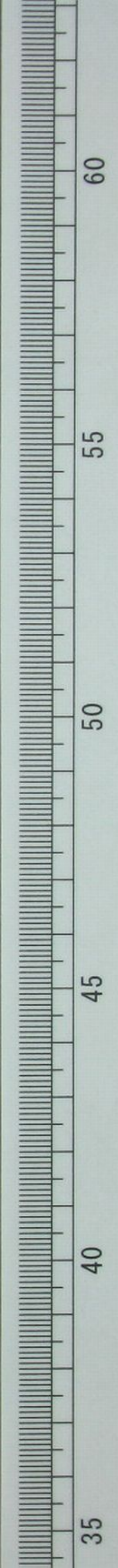


小倉文庫
イ 16
17



門 116
號 174
卷

寬永四年玄光序



塵

劫記

五卷本

昭和二十七年
六月二十一日
受入

卷之第三
卷之第四

塵劫記卷之三目錄

分六三

分六四

分六五

分六六

分六七

卷之第四

分六八

分六九

分七十

立本れろふさとしるぐとてけりる

町つりれ事

入子^名さん^名の事

けんちれ事

知り物ぬの事

まう守の法付むが^一ます守の法の事

美あまうま^二やう守の積代^{積代}事

ひやうま^三な^三を^三す^三の^三事





光世三

木のうぶをいふは木のこゝろにけりしき



光世四

川をさへん付ありふさ人の事



流しをせむるをいふを日蓮のまゝにして
 又法華のまゝにありて下すは
 小石をりまゝにありて流しをせむ
 かたしすゝくうまじあふあはて
 なるべしとていふまゝにありて
 まてげんをうそとてうらてみる
 ちかみこいれよと信だけを三つ
 聞ていふのまゝにありて



○まゝにせむる



才廿四

町はりのれき



むらいすゝ人のたぢりあ
しんろりまうでいれよのふまは
るふあゝあるそとゆらあ時

○たぢりい三町廿八尺二寸七分

卷之三



三町廿八尺二寸七分

法よ一町あるの二町一丈ある二尺一寸は
 いふを法しちて四ふくよくしむの五尺入を
 みる時よあひひつはよあひひつは
 三とつはひつは二分四りよあひひつは
 むつはひつはひつはひつはひつはひつは
 あひひつは二分四りよあひひつは二尺八寸
 とつはひつはひつはひつはひつはひつは
 時ひつはひつはひつはひつはひつはひつは
 七分とあひひつはひつはひつはひつは
 二尺一寸七分とあひひつはひつはひつは

町つり北東



むりいよきさ一丈ありものにてハ

- 一町で 五分わり五毛五糸よえゆりて
- 二町で 二分七り七毛七糸
- 三町で 一分かりむ毛
- 四町で 一分三りひ毛
- 五町で 一分一りき毛
- 六町で 九り二毛五糸
- 七町で 七り九毛三糸
- 八町で 六り九毛

巻之三

○九町て 六リ一毛七糸よるゆり
 ○十町て わりの色む糸
 ○十一町 五リ五糸
 ○十二町 四リ六毛二糸
 ○十三町 四リ二毛七糸
 ○十四町 三リ九毛六糸
 ○十五町 三リ七毛
 ○十六町 三リ四毛七糸
 ○十七町 三リ二毛六
 ○十八町 三リ八毛

糸の五

入子さん此糸

ありひ六ツ入子のものを根北を糸よくいと時
 入子一ツ^付の分さうりといふ時一もん代糸ハ
 糸ふれとすーあつらえとさう時り



糸糸五



糸糸七



糸糸五



糸糸三



糸糸二



糸糸五

法よ廿一糸と方四よわねと三糸めふふろりり之
 右よへちよ^五 又六町の入子の内を一ツ引糸て

五ツ五を二ねよつ分をうらねん家入り本氏
 三糸を二ツふまねん二糸入りる家これと右の
 三糸をうらよとくつとくまきめ糸あかぬき
 あれよ八分づくりうわ

ハツ入子

○一糸ろべ ○二糸ろべ ○三糸ろべ ○四糸ろべ
 ○五糸ろべ ○六糸ろべ ○七糸ろべ ○八糸ろべ
 右に八段を糸四拾三糸二分よくいし時一糸を
 うふれよあつろだもつふ時り

○一糸ハ 三糸二つかなめ



代糸三糸二分



代糸二糸四分



代糸三糸五分



代糸四糸二分



代糸六糸



代糸七糸二分



代糸八糸四分



代糸九糸五分

八口合四拾三糸二分

法よ一二三四五六七八これと合世六より本氏

うへり一尺五寸とくく其廿三丈一尺寸より
又右より十八間四尺とをき一けんより
六五をくくれも十二丈一尺とくくこれを右の
北三丈一尺寸よりくくれ一丈の坪坪百七十八坪
四合二りき色ゆしなるなり これを一坪の法
四二二五ゆてわねる百五拾八坪九分りり
ありと これを田の法三ゆてまねる二反一畝
廿八歩ふ九分りりとありなり



同右のくく田廿五間二尺六寸を時尺より
まねる二尺六寸を六五ゆてわねる坪百四
坪又機十坪と四坪を四坪よりわねる坪百四

まねる十八間六尺一尺又一寸あまりありと
すてまねるふたのまきと右右のまきかまねる

○六百五十八坪分四りとするなり

まねる右とちがひをせりくくのまねるまねる
まねるなり見あるやうに用ひ一けんより
尺寸を六五ゆてわねるちとゆてまねる
まねる又まねるハだるすともくまねる入てまねる
まねるまねる時よりまねるれも見あるやうに
まねる



一畝廿八歩ハ分カ方リ

七十七方

十

法一 五七拾六方よめ大とくこれ三八と成
これと六五あてわりの拾八坪四分六リと成
是を田此法三て日れ一畝廿八歩ハ分カ方リと
する



十

一反七畝セ三歩ハ

五十七方

十

法一 五十三方よ又五方とくこれ三十三と成
拾八方よ成これと二ツよ日り時九方よ成是を
五十七方よ成これ五百十三坪と成これ
田ハの法三て日れ一反七畝セ三歩ハと成



〇八畝

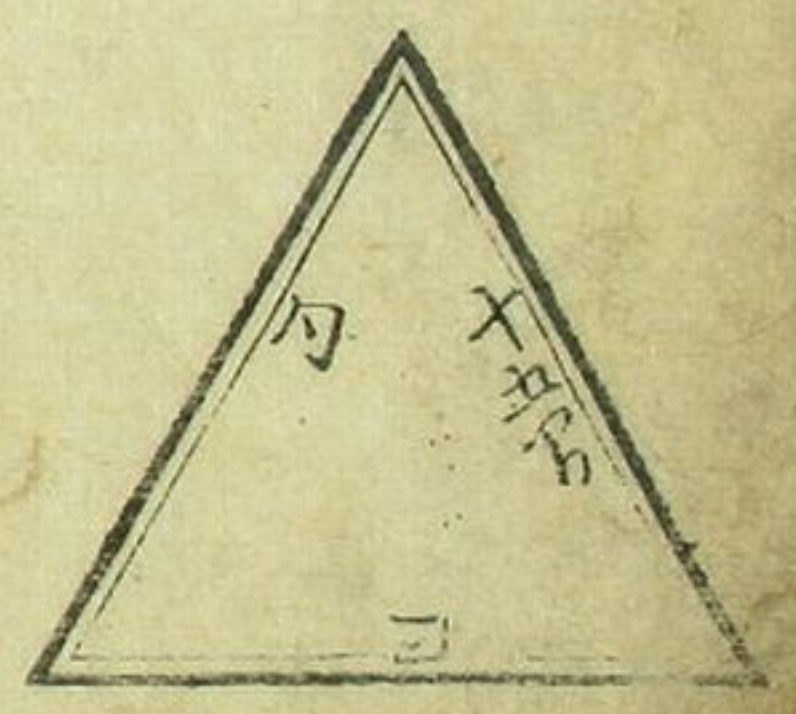


法一 十二方と二ツよりわり六方よ成これと
かき四拾方よりこれと成百四拾坪なり
これを田此法三て刻時八畝と成

卷之三



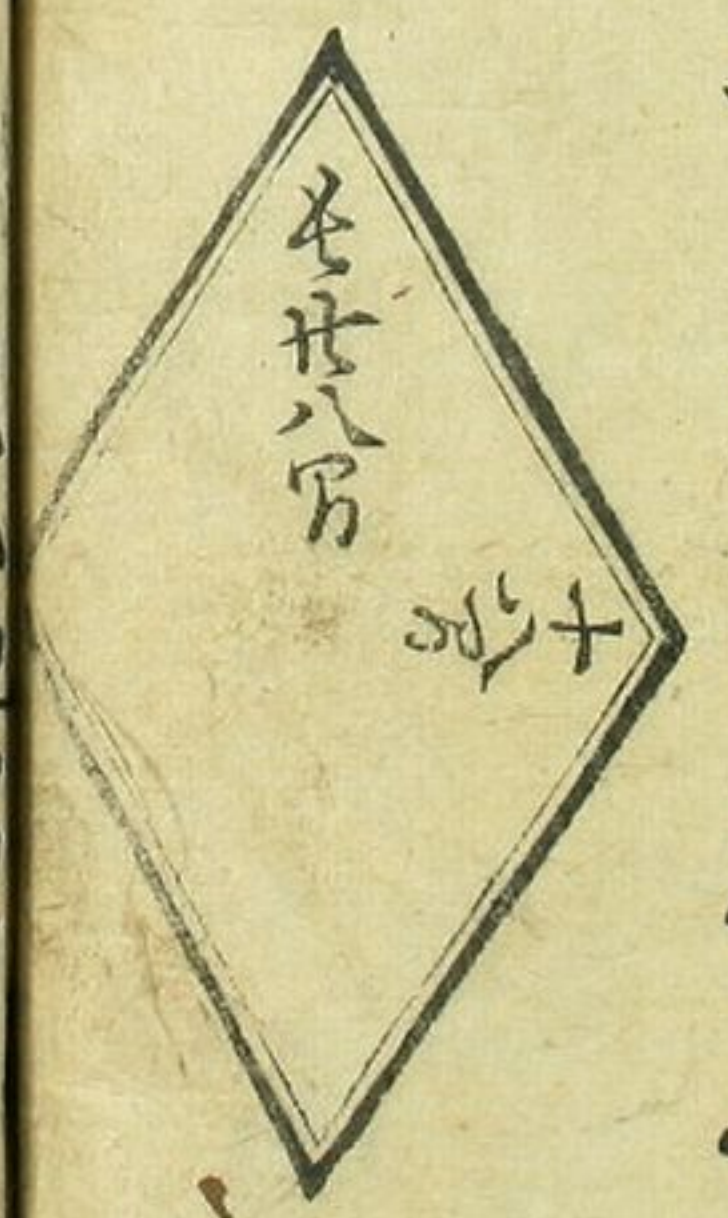
○二畝七歩ふ四分



法一十五間左右小垂くくれば廿五坪法不小
これ又三角の法四三三をくくるとさうりハ
九坪七坪四分二リ也是よ飯是を田の法三にそ
わふ付よ三畝七歩四分二リむきとさうべし



○八畝十二歩



法一横十八間と二ツりくれば九間八歩
これをとさ廿八間よりくれば廿百廿拾二坪法也
是と田の法三にそくれば八畝十二歩とさうべし



○九畝三歩

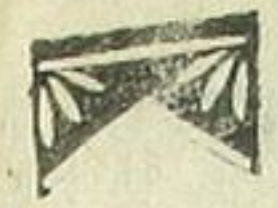
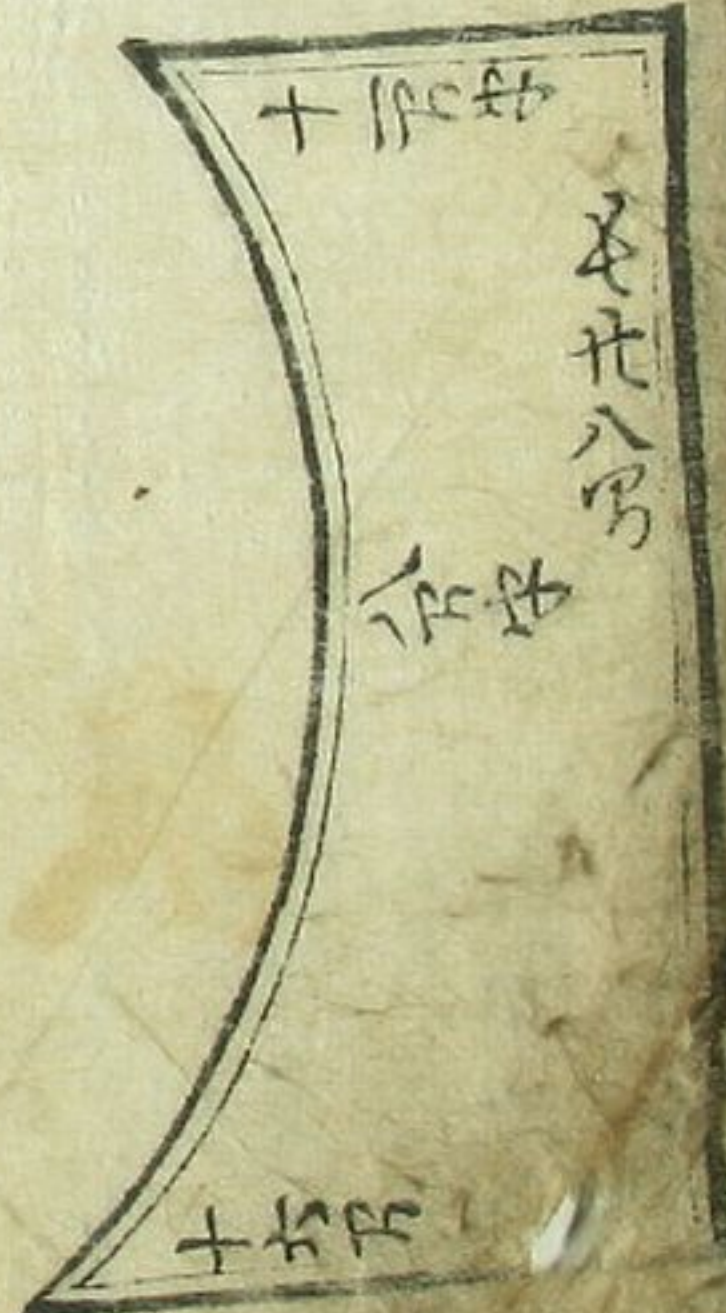


法一横十四間と二ツりくれば七けん法も大方也
これをと廿九間よりくれば廿百七拾三坪也
是のここれと田の法三にそわふとさうべし
九畝三歩とさうべし



○一畝一畝方歩

法一より三十六けんの中北八間歩をくまへて
又十一間歩をくまへるとき各廿六間歩よりなり是を
三ツよわぬ十二間と成是よ七廿八間をくまへ
三百廿六坪とぬこれと田の法三でわらるなり



○六畝六畝方歩

法よ廿八間歩より十四間をくまへるとき四拾二間よりなり
是二ツよ七廿八間一間は成是よ九間をくまへぬ
百八十九坪よなり田の法三にてわぬえきなり



○五畝五畝方歩

法よ十五間間歩を充有おほよ垂おほくこれと成百廿五坪よ
るらかりありまうき法七九をくまへるとき
百七拾七坪七分ありぬこれと田の法三にて
五畝五畝方歩拾七歩七分ありとあり





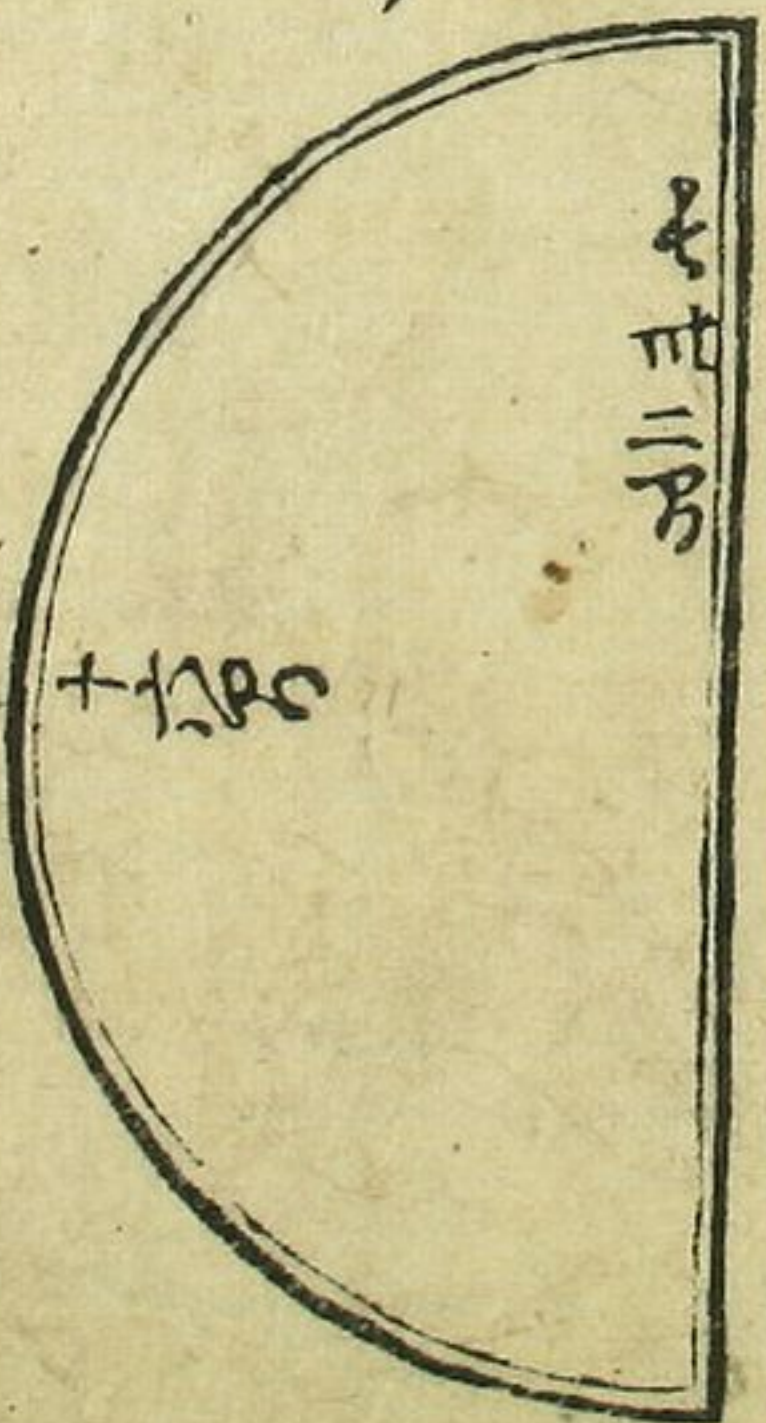
○五畝廿七歩七分五厘



法一畝四まちき一まちわし一まちうまちれぬ時よまわりを
うまちはとまちき一畝拾七まち尺六寸あり二尺六寸
づまちりわと六五まちとをわしまち四拾七まち尺四寸ある
こまちれよまち四まちきめまちぐまちわしまち法三一六まちにまちてわしまち時
ままちりまちきまちさまち一まちわしまち一十五まちけんまちわしまちあるまち一
け十五まち尺とまち右まちよまち地まちきまちくまちれまち八まち歩まち五まち坪まち一まち版
ままちりまちきまち法まち七まち九まちとまちくまちれまち八まち百まち七まち拾まち七まち坪まち七まち分まち五まち厘まちと
るまちあまちかりまち是まちとまち田まち此まち法まち三まちにまちてわしまちのまちとまちままちり
五畝廿七歩七分五厘とあるへし



○一畝三畝十四歩四まち分まち八まち厘まち



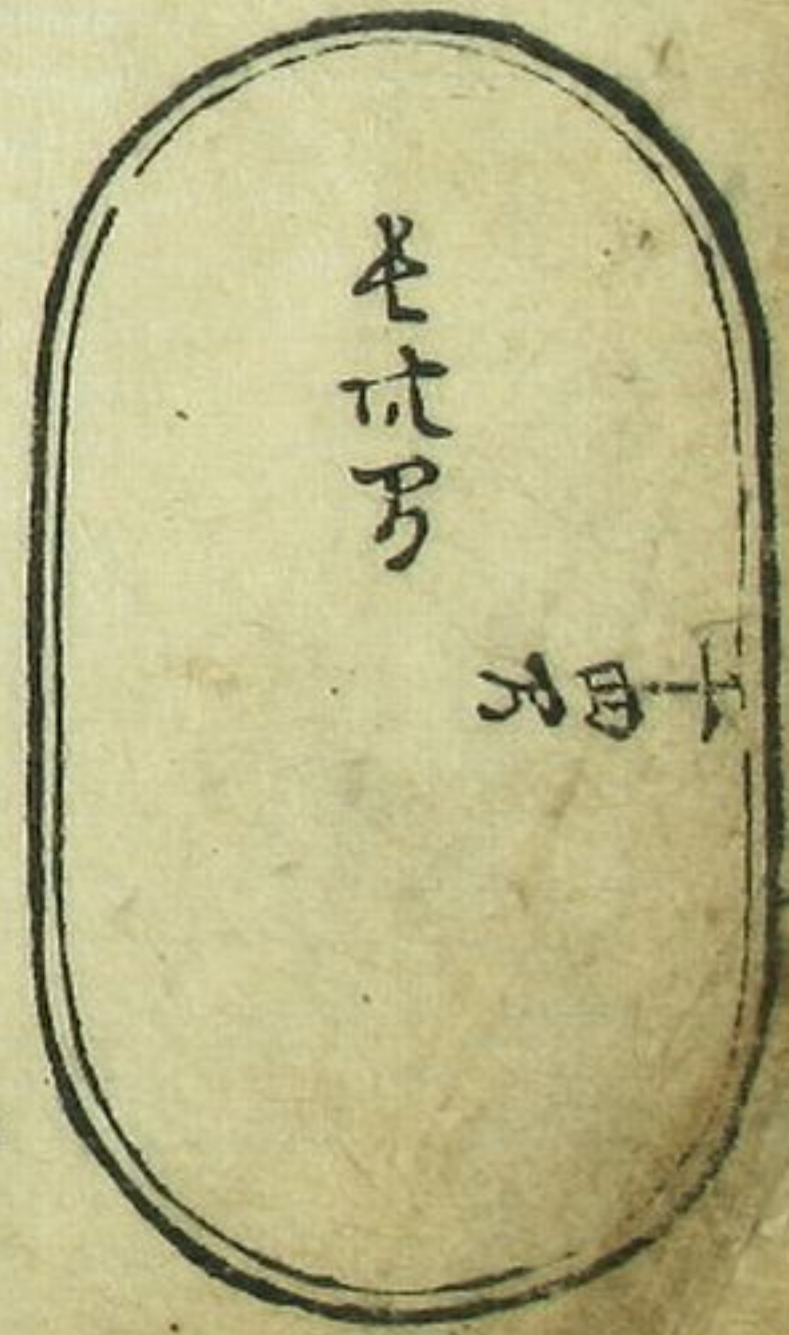
法一まちたまちりまちきまち世まち二まち万まち一まち横まち十六まち尺とまちくまちれまち五
五まち百まち十二まち坪まちわしまちたまちりまちちまちりまちれまち一まち又まちままちりまちきまち法
七まち九まちとまちくまちれまち八まち百まち四まち坪まち四まち分まち八まち厘まちと
田まちのまち法まち三まちにまちてまちままちりまちわしまちままちりまち一まち及まち三まち畝まち十四まち歩
とまち分まち八まち厘まちとまちあるまちへし



○一及二畝十八歩分四り

七廿方

四十八



法よ七廿方のうちをよと十四方引一時は計て十六方は是よ十四方とこれの或百廿四坪は成これを右よべちよ又右よ十四方と右よ五これの一九六よろり是よ四き法七ぬをこれの百五拾四坪の分四りと成これを右よよと四分時よ三百七拾の坪の分四り小成これよ田此法三ては

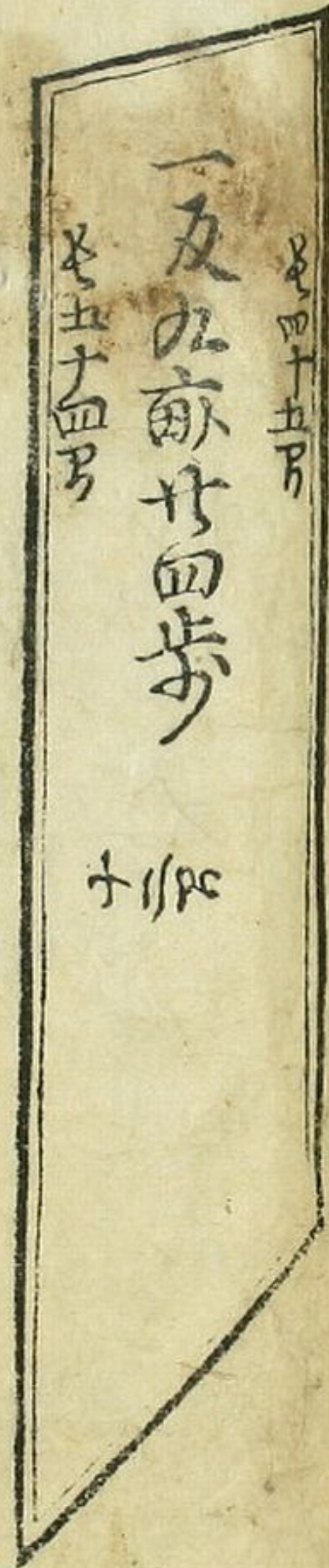


○

一及九畝廿四歩

七五十四方

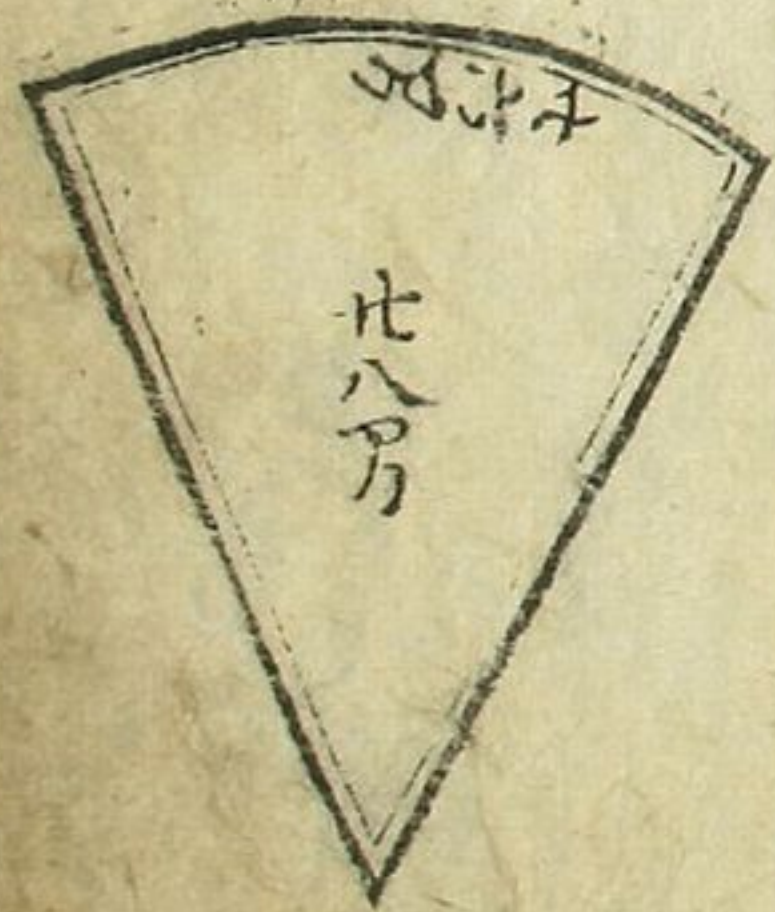
十一



法よ七とさぬ十四方よ四拾五方とくは五分時一
九拾九方よろり二ツよよこれの四十九方よ成
これよ横十二方とわられは五百九拾四坪は成
これを田の法三にてもわ成

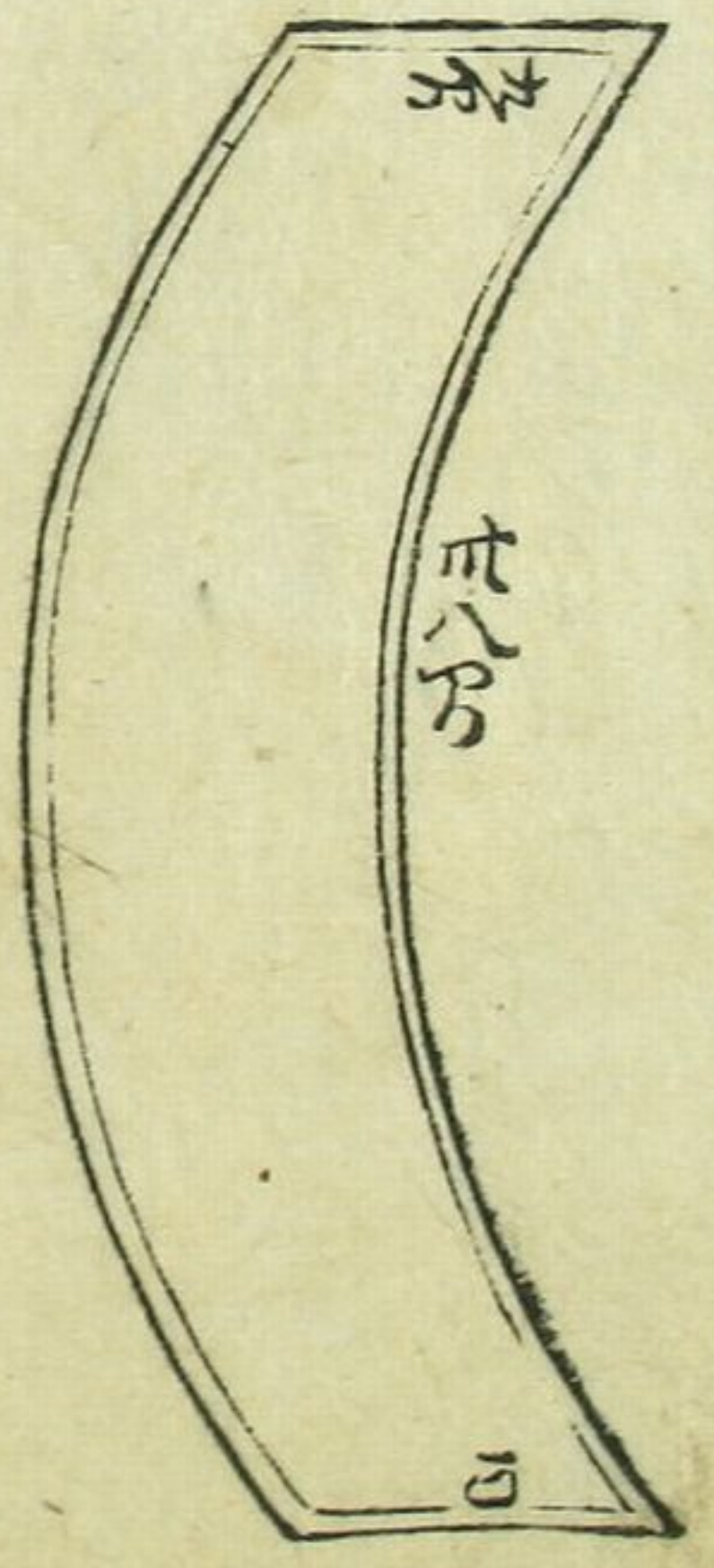


○一及二畝四歩



法よりしこ廿六万と二つよりわかれ十三万
 る所是と廿拾八万よりわかれ二百六十四坪と
 なるべし 此の田は法三にわかれしより
 一畝二畝四歩とありし

〇一畝一畝十二歩



法よりわかれ廿八けんよ九けんをわかれしより
 二百四十二坪なりしよりわかれし田乃法三にて
 わりぬきよむるべし

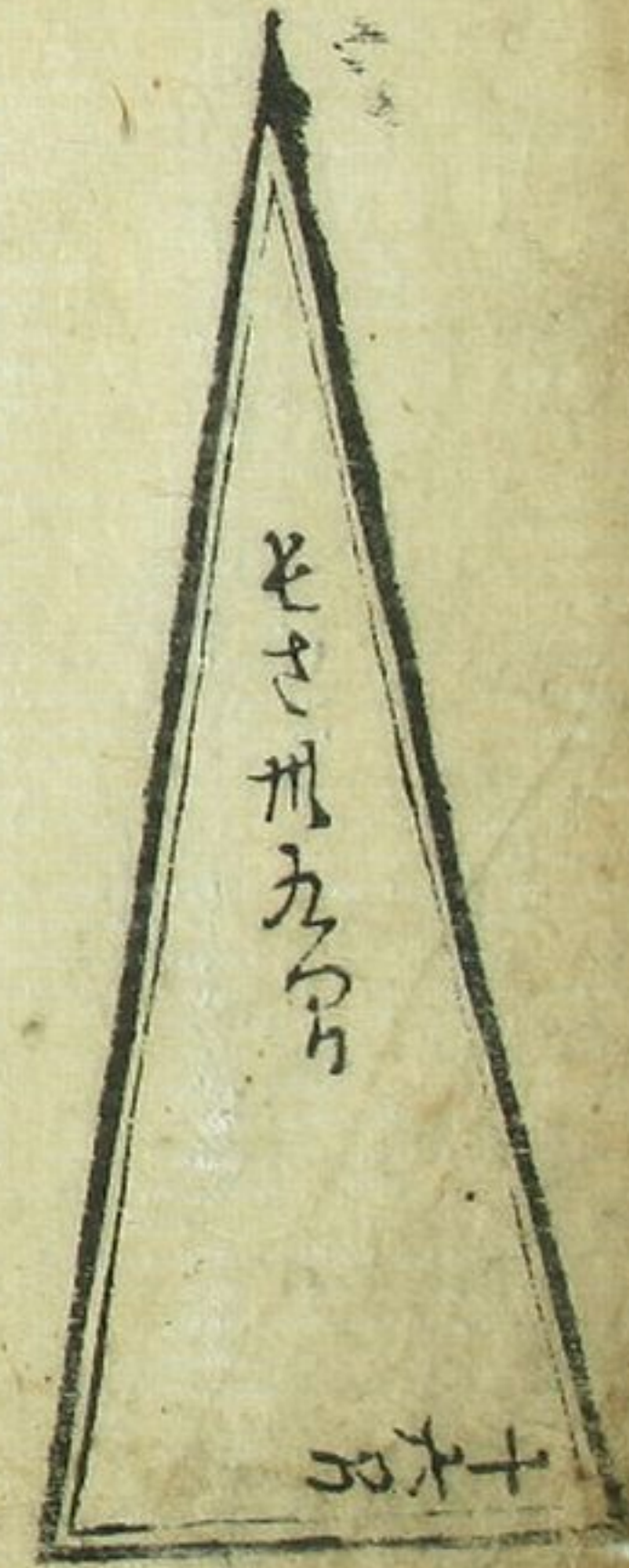
一畝五分



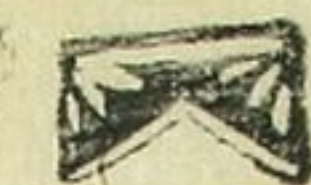
法より十四万より九万とくはしつ時小廿二万よりなる
 これを二つよりわかれ十一万なりしなるべし
 とき廿拾三万とくはしつ二百六拾四坪なりし
 所より是をべしなりしをき〇又八万と二つより
 四万よりし是より又九万をわかれしは廿六坪と
 なる二百六十四坪なりしより三万坪なりし
 是と田の法三にてわかれ一畝五分とありし



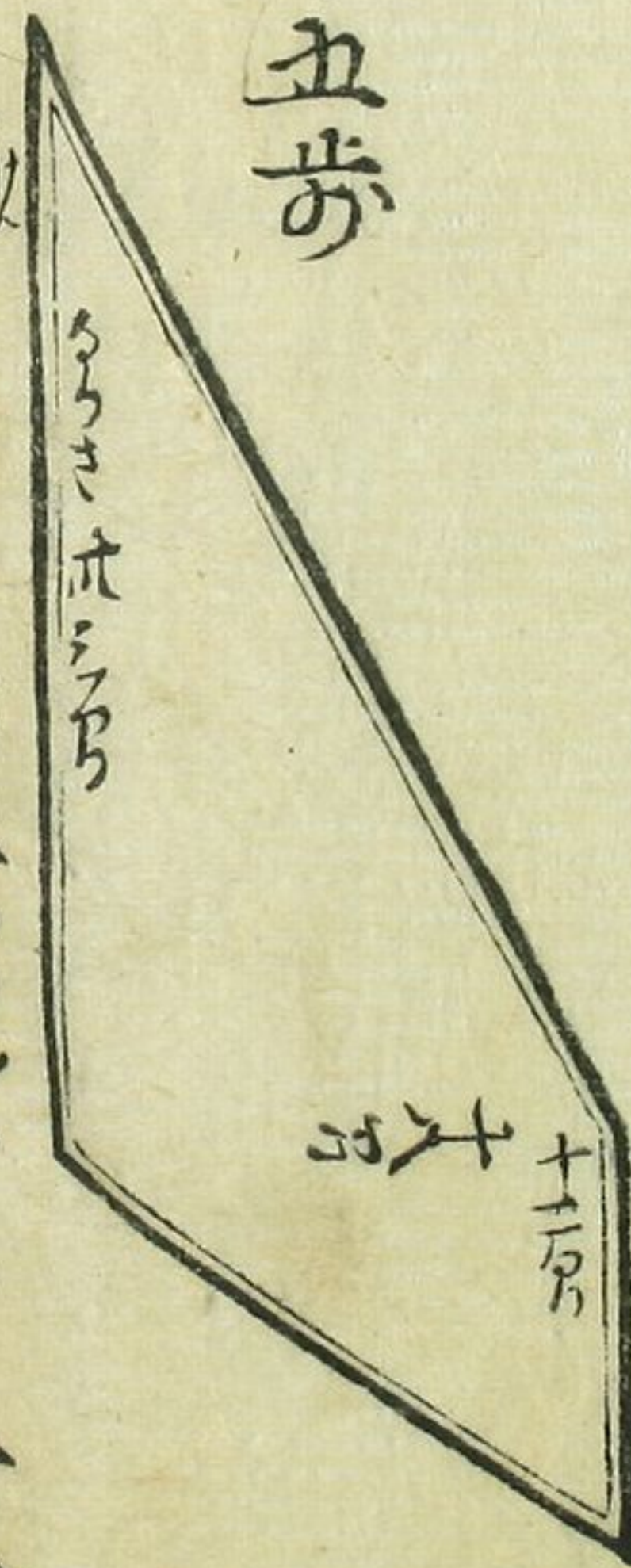
一及十二歩



法一十歩を二つよむれば、
七歩九歩の法三で
わねえ一及十二歩中、
ある



一及三敵十五歩



法一十歩を二つよむれば、
七歩九歩の法三で
わねえ一及十二歩中、
ある



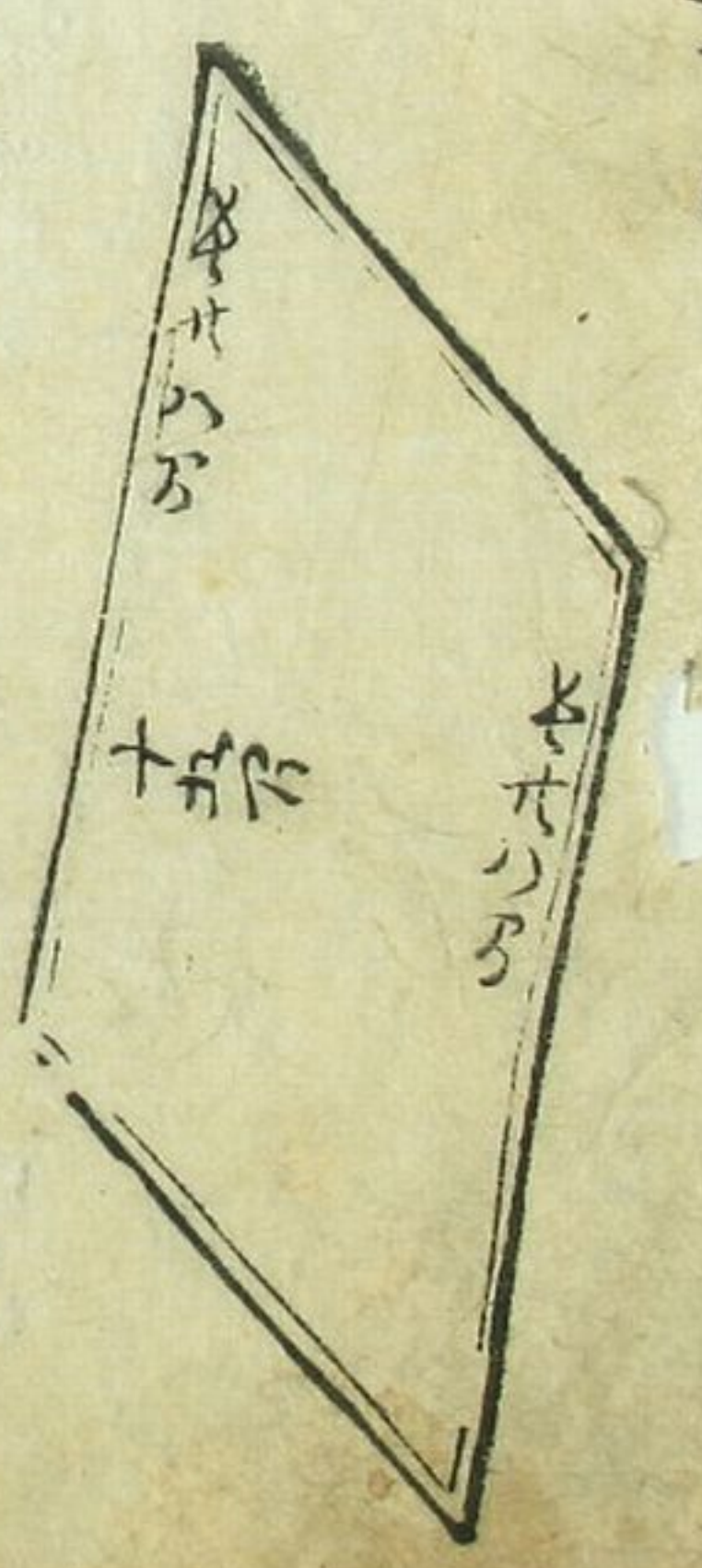
一及三敵十九歩



法一十歩を二つよむれば、
七歩九歩の法三で
わねえ一及十二歩中、
ある

うろそ程右之内と引一町ありし西有九坪あり
 田の法三にしてまねる右此こくく
 引じたり

〇一畝四畝



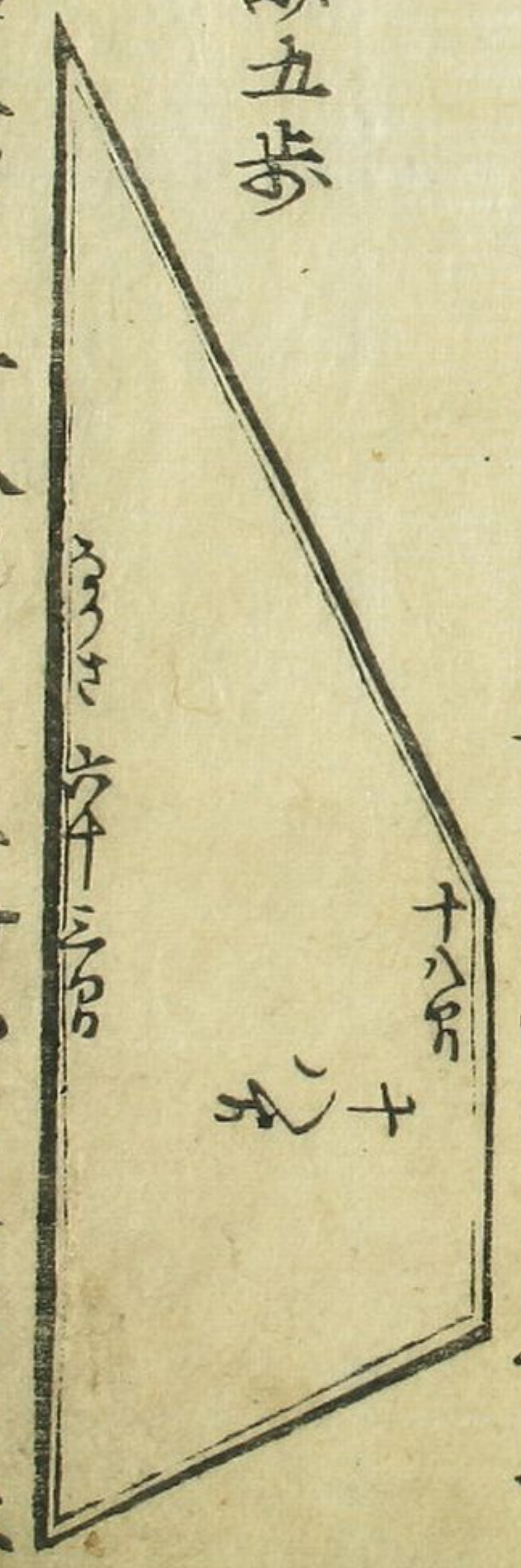
法よ北八町小十坪とくく引じたり北坪は
 田の法三にしてまねる一及四畝とさるる

〇一及六畝廿四畝



法よ十七町は十一町くく引じたり一及六畝
 中六町と成しれを四つよまねる十四町は
 ありまねる六町とくく引じたり百四坪は
 田の法三にしてまねる一及六畝廿四畝とさるる

二畝四畝五畝



法よ六拾三町よ十八町くく引じたり一及六
 二つよ割町四十町と成しは八とくく引じ
 七百廿五坪は是田の法三して割二及四畝五畝



一及三畝式拾四歩



法は十二方より十八方よりなる時卅方より成二ツに
且れ十五方よりなる時卅方より成十五方と
又此の式百廿五坪よりなる時一畝をき 又こゝに
十八けんより三方を加へる付は廿一畝よりなる
二ツより且れ六十方より成これより十八けんよ
かりぬる百の積の坪よりなる時此は法三してよりなる
るより四畝拾四坪よりなる時此は法三してよりなる



〇四畝二十四歩



法は二方を二ツよりわりて一方よりなる是より
かりぬる廿四方よりなる時此は法三してよりなる
又二方より十八方よりなる時此は法三してよりなる
二ツよりわりて十けんよりなる時此は法三してよりなる
かりぬる百廿坪よりなる時此は法三してよりなる
るよりなる時此は法三してよりなる
るよりなる時此は法三してよりなる



〇一及七畝三歩



法よ是世三万よ北回方らよ入て廿七つりよ成
これと二つよ置れん北八万半りるあこれよ
ふこ十八万くこれハ五百十三坪よなるこれを
田の法三てあり時一及七畝三歩とあるべし
右捨地の積う法所見ありやかん用るり
時必初めおらてと世初め人よきしへの



知り地ぬの一事



二及七畝五時 斗代一及付一石む代よりて
右きハカふれどがことう時

〇言石む米とよ

法一 二及七畝を右よ置る石五斗とくこれこ
言石む米とあるべし



五及三畝廿一歩 一畝付一石五斗代よりて
右き言石む米とあるべし

〇言石む米とあるべし

法よ右よ五く三畝廿一歩とをき畝よりへの

廿一葉と三にわりの時よ九だん三節七はるが
こりよまゐる五斗をくらひのるやうなぐ

〇三萬五千二百石を 右に物ぬ六の五分と
しよの時右の言よ物ぬ合て何れどなりをさの時

〇物ぬ二万二千の首の拾石とつゝ
はよ三万五千二百石と右なり 物ぬ六の五分を
かゝれ右のものをぬとまらこ

〇六の五の分なり ちりといふ
はよ物ぬと右よ五の五分にわりの六の五分とぬ
〇三萬五千二百石あり け物ぬ二万五千の首

あり時ろんろんよあつるなごとうの時
〇三換五分といふ
法よ言のうちに物ぬれりてを抄て一万二千

三百廿石ありこれとまて日れ六三ろん五分
〇物ぬ六の五分とつゝ物ぬ二万二千の首の拾石
ま時右の言よれぬといふ時なり

〇言三万五千二百石あり

法よりの版二万二千八百の千石を六ツ五分て
目録のふとちるべし

年欠八石六斗七升りりりし時よ右もちりて
まゐて口米式米ツツりて納米なるべし

○納り石むけりり

法より八石六斗七升と右よりなまき二石二斗て
これの八石五斗とちるべし

抽ぬ二万二千八百八拾石を 一石 付口米二斗
史米六斗りりて右も抽版の口米史米とちり

○口米史米 千八百世石四斗

法よ右も抽ぬふり米をうりぬの口米史米とちり
納二万二千の百八十石の時口米史米本米共よ
一さんじしとちり

○二万四千七百拾石四斗

法よ二万二千の百の拾石よまゐる八斗とわくぬ
二万四千七百拾石四斗とちるべし

中米口米史米共よ二万四千七百拾石四斗は時
本米りりりとちる時

○中米二万二千の百の拾石とちり

法よ二万四千七百拾石四斗とちる時

◀ 日本米口米丈米より二万四千七百拾石
あり時右うち口米丈米八千ふり

○口米丈米 千八百卅石四斗あり

法り右より二万四千七百拾石四斗ありをきて

ひづりより右の米と重きを算して日ら時よ

一三五とならこれにて右をあらとさる

千八百卅石四斗とさるへし

◀ 日本米口米丈米より二万四千七百拾石四斗を

右のうち口米をうふりて日ら時

○口米四百拾七石六斗あり

法り右より一石八斗と重これを二乗てゆれ

五四と成これにて右の二万四千七百拾石四斗を

ひづりより右の米と重きを算して日ら時

◀ 日本米口米丈米より二万四千七百拾石四斗を時

丈米より一石八斗と重これを二乗てゆれ

○丈米千三百七十二石八斗あり

法り右より一石八斗と重これを二乗てゆれ

一八と成これにて右の二万四千七百拾石二石

六斗とさるへし

◀ 丈米千三百七十二石八斗あり時日本米八千ふ

塵劫記卷之三終

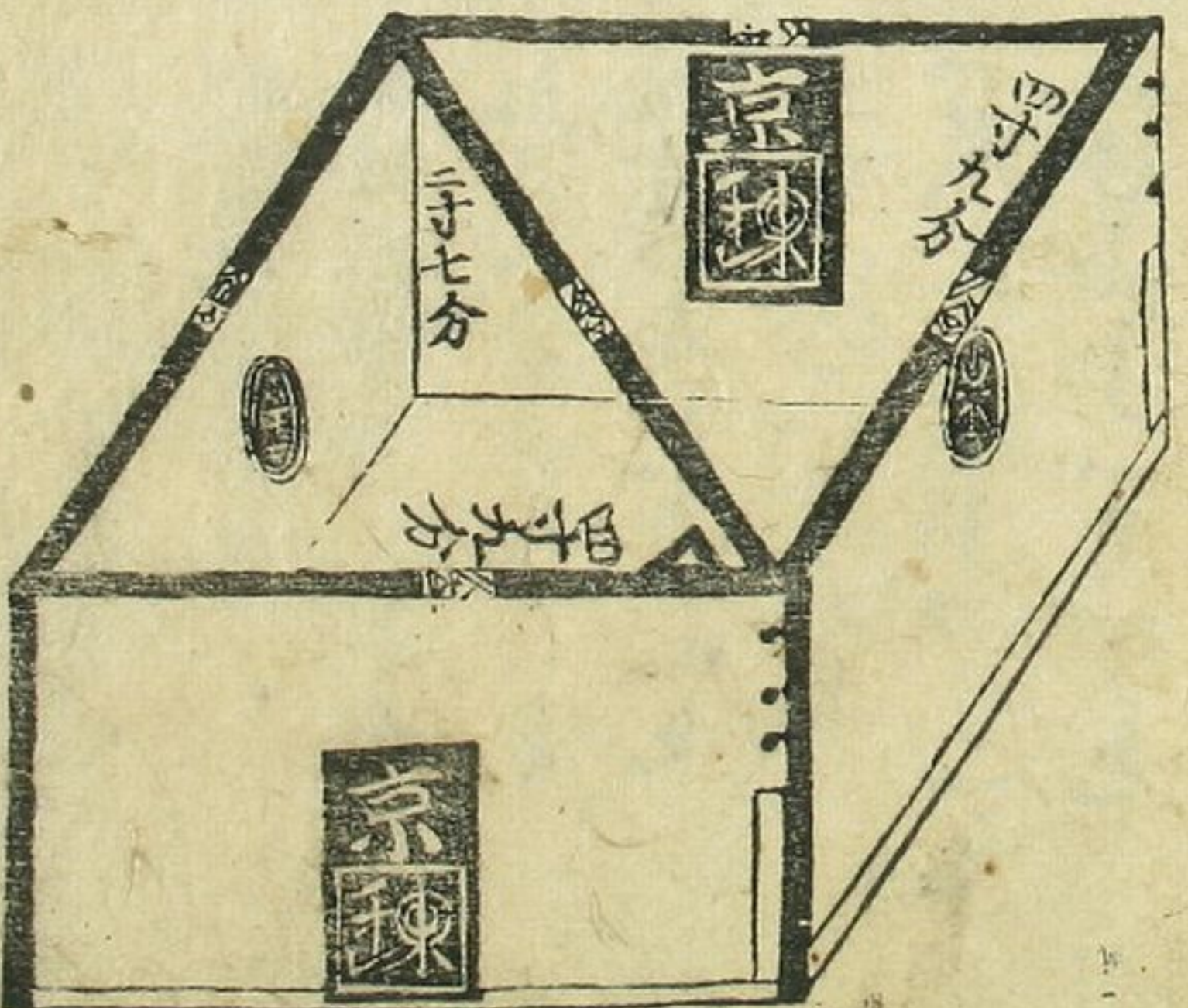
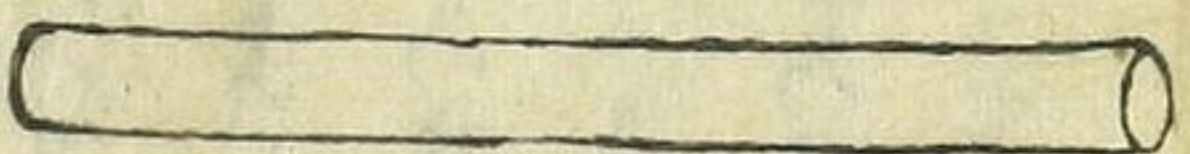


○吉中寸

はらりけ

ひろき 四九分

あつさ 二寸七分



○二寸寸

○二寸寸

ひらき 六寸五分
あつさ 二寸四分
ひろき 二寸四分
あつさ 二寸四分
ひろき 二寸四分

○一斗

ひらき 七寸七分七厘八毛
うき 四寸二分

○二斗

ひらき 一斗三分七厘八毛
うき 四寸六分一厘七毛

○三斗

ひらき 一斗九分四毛
うき 四寸九分六毛

○四斗

ひらき 一斗五分七厘二毛
うき 五寸一分四厘七毛

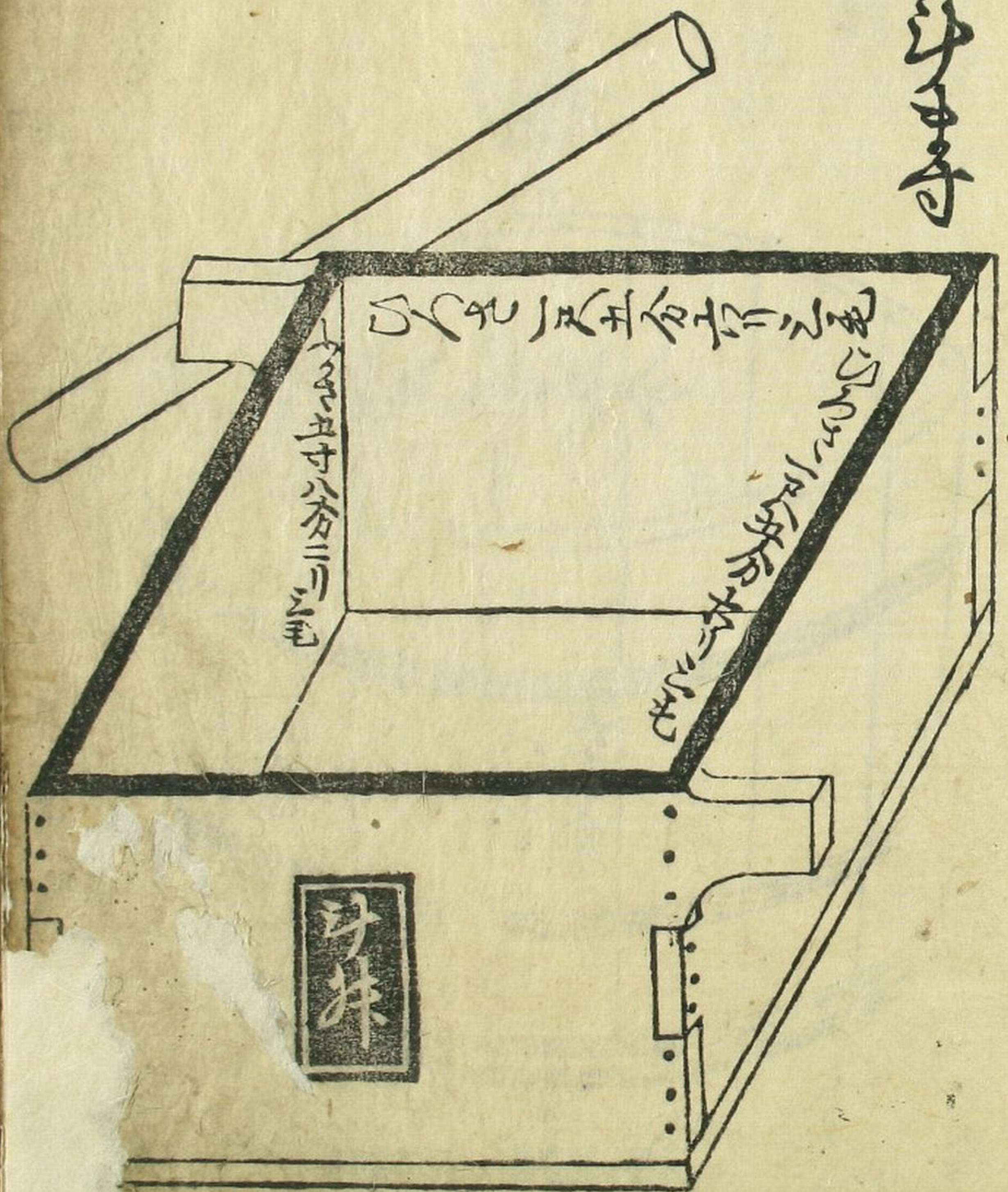
○五斗

ひらき 一斗九分二厘四毛
うき 五寸四分一厘七毛

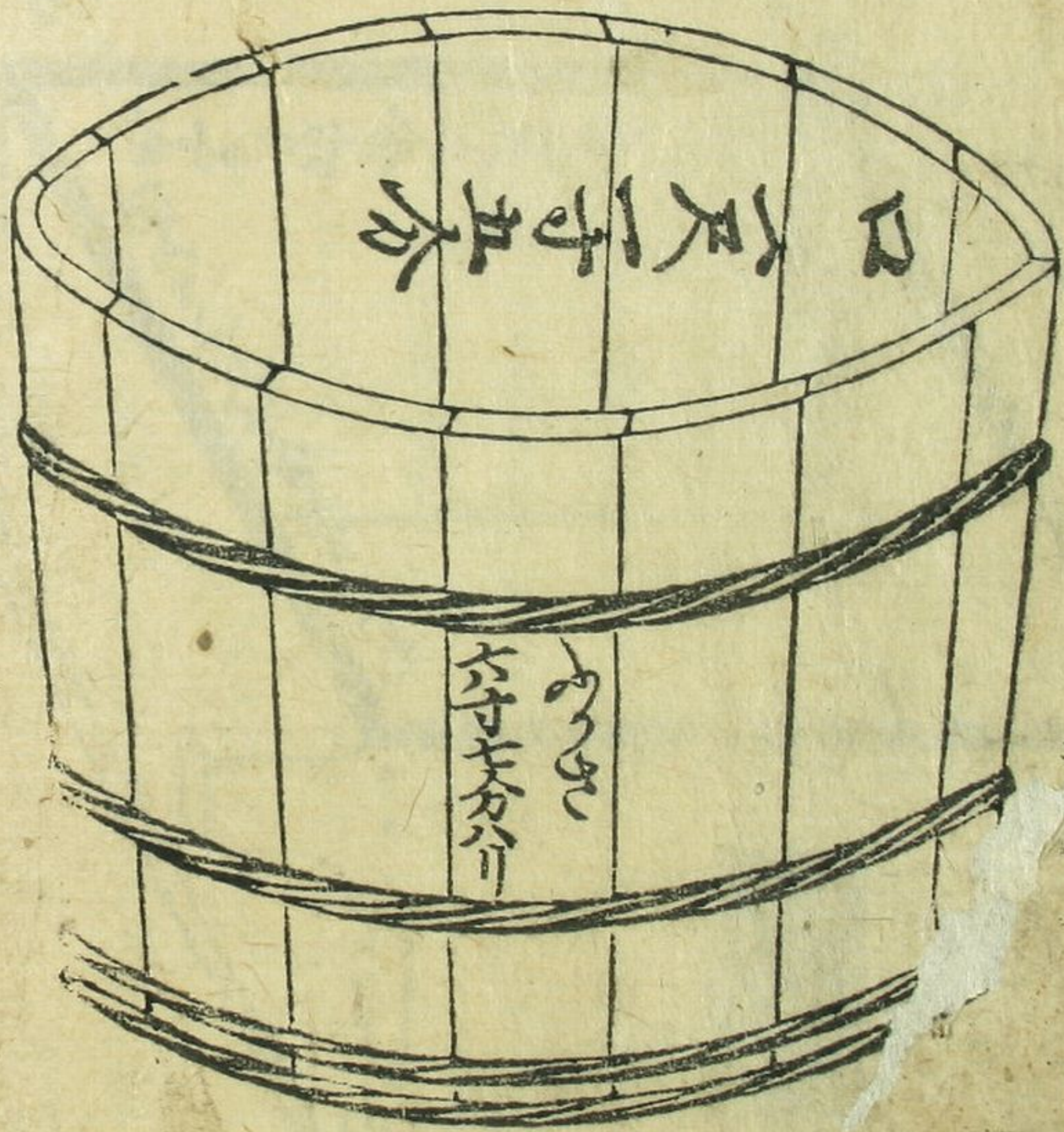
○六斗

ひらき 一尺一寸四分一厘七毛
うき 五寸四分一厘七毛

○一石



○^と沙^び桶

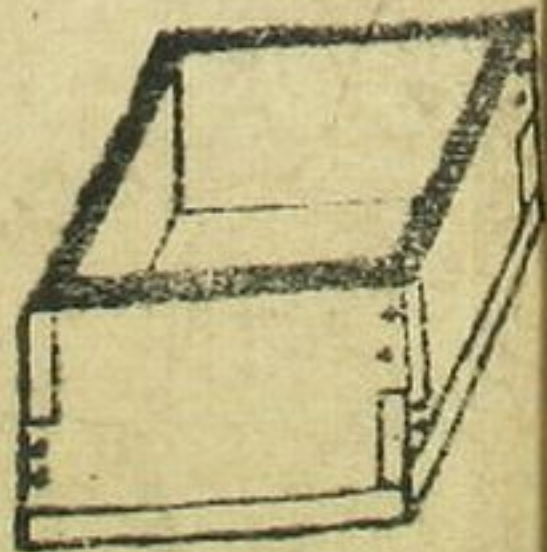


心 尺付



一合ヤリ

ひろき 二寸二寸七分
うまさ 二寸二分



一合五分

ひろき 二寸四分
うまさ 二寸四分三厘八毛



二合ヤリ

ひろき 二寸七分
うまさ 一寸五分七厘四毛



二合五分

ひろき 二寸九厘
うまさ 一寸六分九厘



三合ヤリ

ひろき 三寸二分
うまさ 一寸七分

三合五寸
ひろき 三寸四分八リ
あつき 一寸九分六リ

四合五寸
ひろき 三寸六分一リ
あつき 一寸九分九リ

四合五寸
ひろき 三寸七分二リ
あつき 二寸五リ

五合五寸
ひろき 三寸八分八リ
あつき 二寸一分五リ

五合五寸
ひろき 四寸一リ七毛
あつき 二寸二分一リ

六合五寸
ひろき 四寸一分二リ
あつき 二寸二分九リ

六合五寸
ひろき 四寸二分四リ
あつき 二寸三分四リ七毛

七合五寸
ひろき 四寸三分九リ
あつき 二寸四分九リ七毛

七合五寸
ひろき 四寸四分五リ
あつき 二寸四分九リ七毛

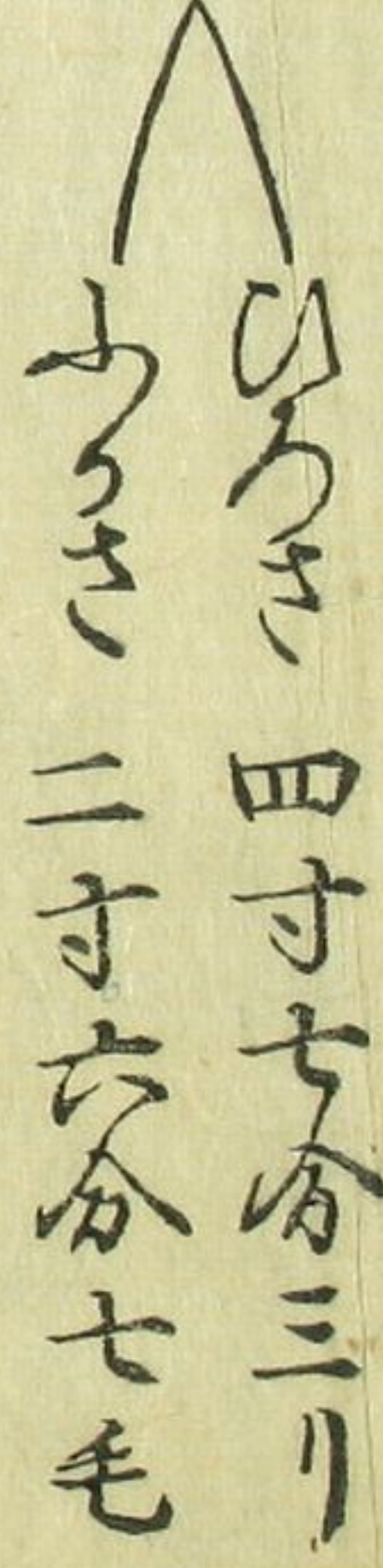
八合五寸
ひろき 四寸五分一リ
あつき 二寸

八合五寸

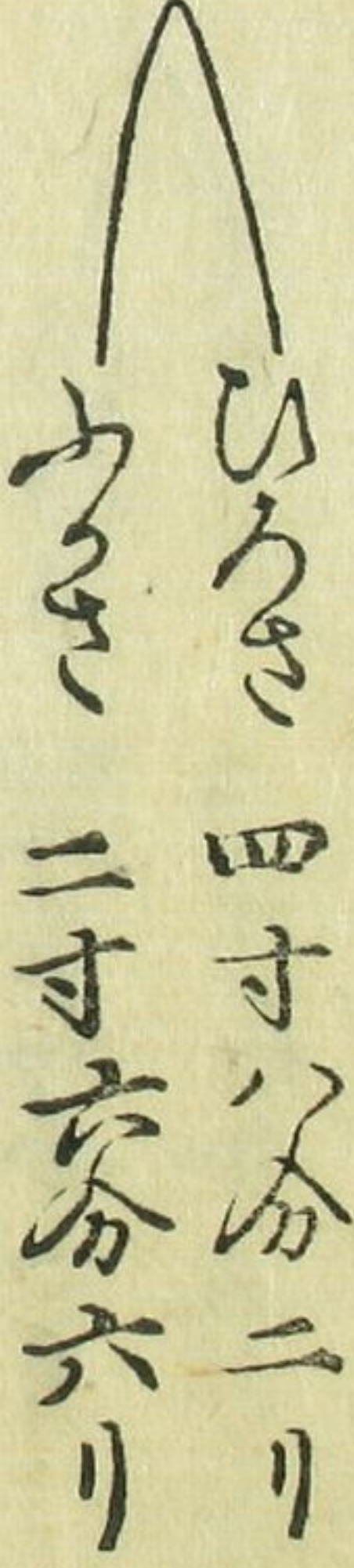
〇八合五寸



〇九合中寸

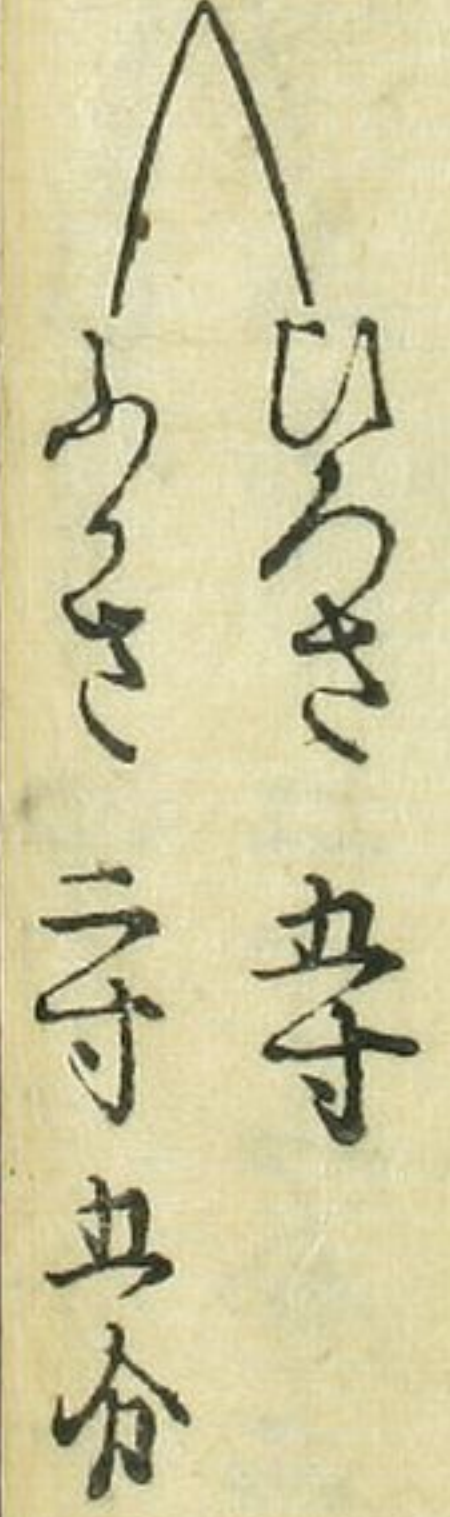


〇九合五寸

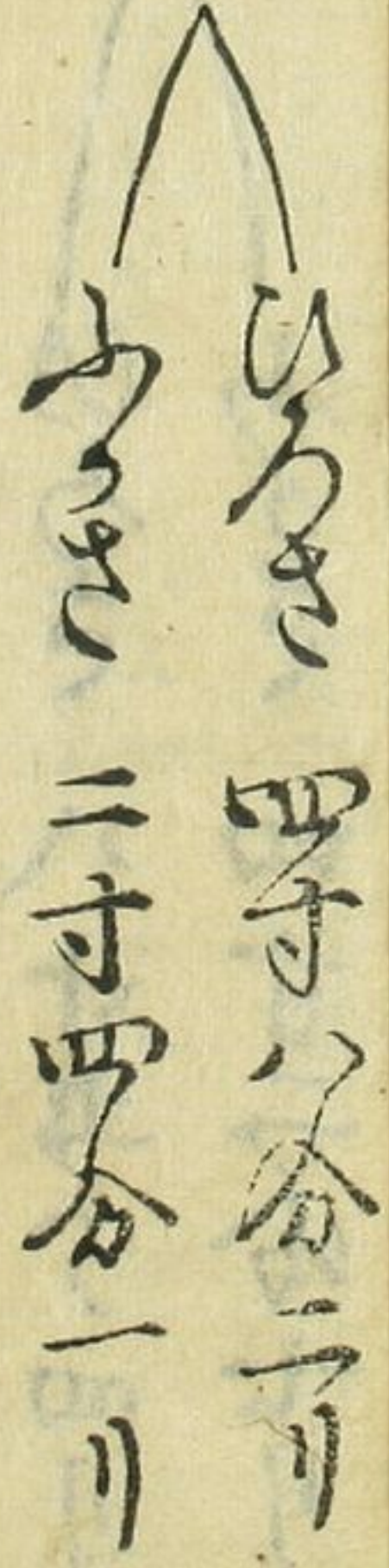


ひりーます寸れ法

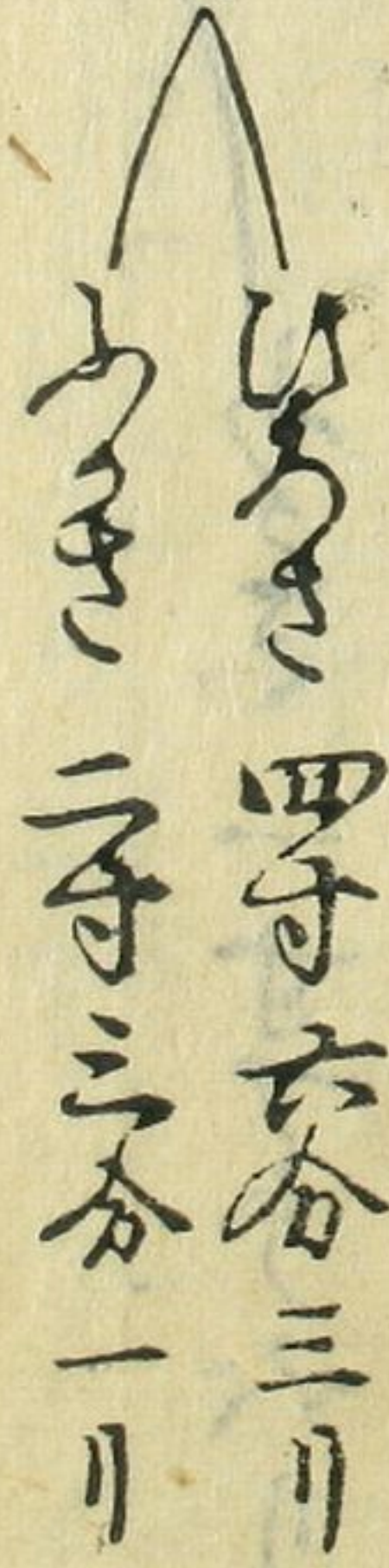
〇一合中寸



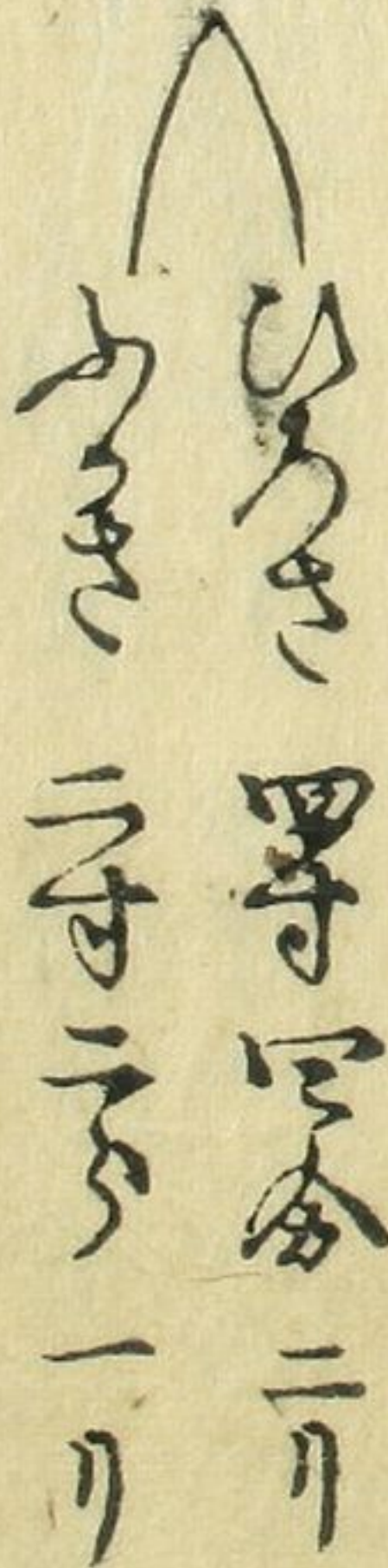
〇二合中寸



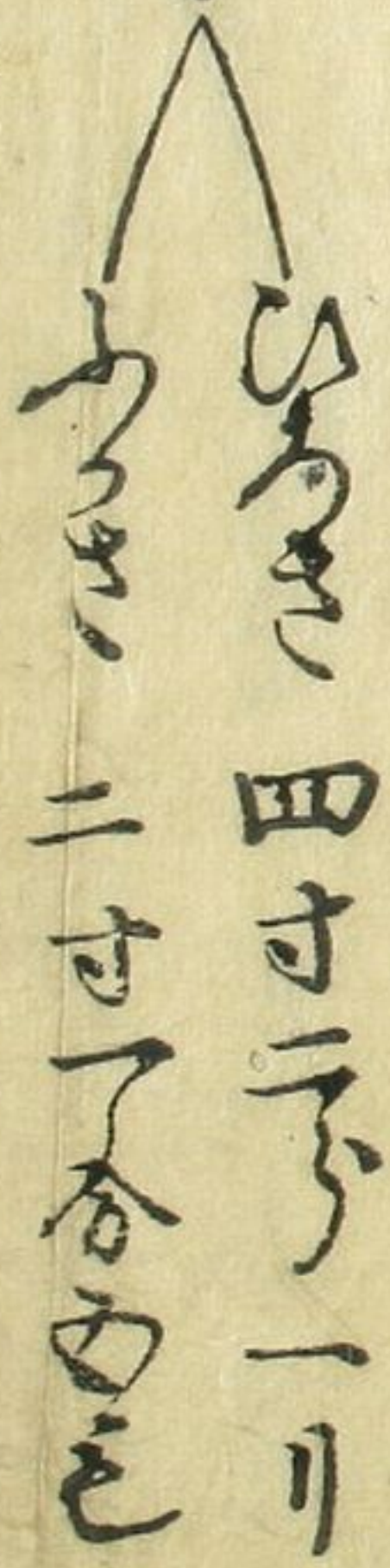
〇三合中寸



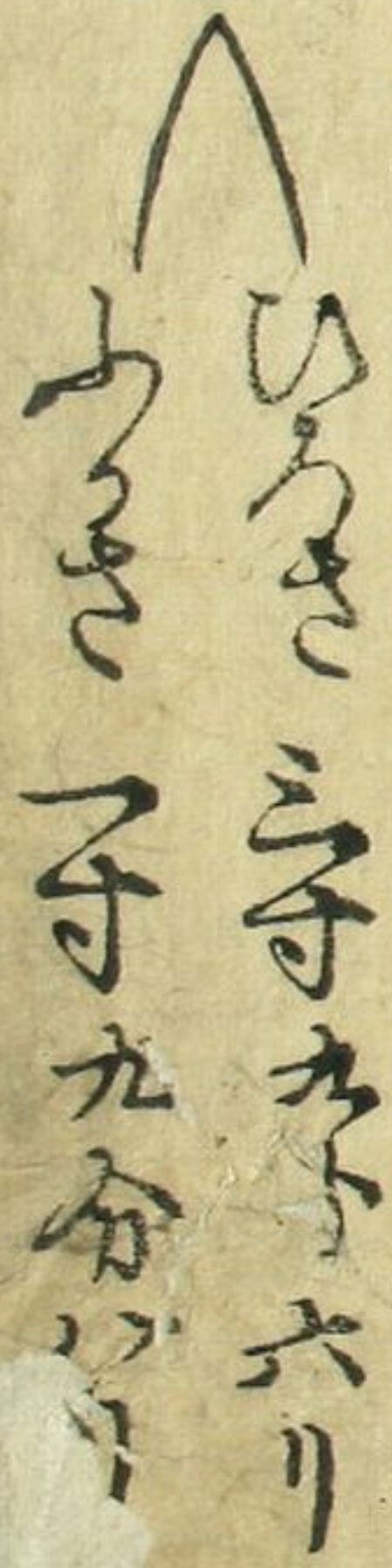
〇四合中寸



〇五合中寸



〇六合中寸



○一合ます

ひろき 三寸六分ハ
うまさ 一寸二分四リ

○二合ます

ひろき 二寸二分四リ
うまさ 一寸六分七リ

○三合ます

ひろき 三寸九分二リ
うまさ 二寸四分六リ

○一合ます

ひろき 二寸二分二リ
うまさ 一寸七分六リ

○わきの辨

ひろき 八寸五分四リ九毛
うまさ 四寸二分七リ五毛

○きふちの寸

ひろき 一尺七分七リ二毛
うまさ 五寸三分六リ六毛

ちう寸作法ありひの一合ますを他時よを一本よ
つ分は方の坪數六万二千五百坪をこ一合よの
六千或百ぬ千坪ありうりこれを五めてはれぬ
一万二千五百一ぬこれを開立法にしてはれぬ
一合ますのひろき二寸三分二リ也しきりなりの
又うまさちうを二寸三分二リ一五をころぬぬ
うまさ二寸一分六リ也しきり也

牙元丸

ヤウ寸同法のり一丈一

○いま判て二斗七合八タ

○古ますて二斗七合四タ

法にうへの寸のさしわす

下此寸のりわすとあまやて二尺四寸あり

これ二ツふじれ一尺二寸よ成是を左右よ玉

くくれ一四四とろりくれよさ七寸をかくれ

一下下八とろろあれよ四寸法七九をくくれを

七九六三二と成是を糸練の法六四八二七めて

わふとよまよ一斗二升二合ツタとちかへし



むりーまうよにそほりるやまよと右のどく

よのりわすよ下のさしわすとくく

二尺四寸よ成二ツよまれ一尺二寸とこを

左右よあきくり又これよ二をくけてきて又

まの法七九をかけくれよ十六をくくれ

二斗七合四タとちかへし

右のさんちよと玉計よめけり玉がり

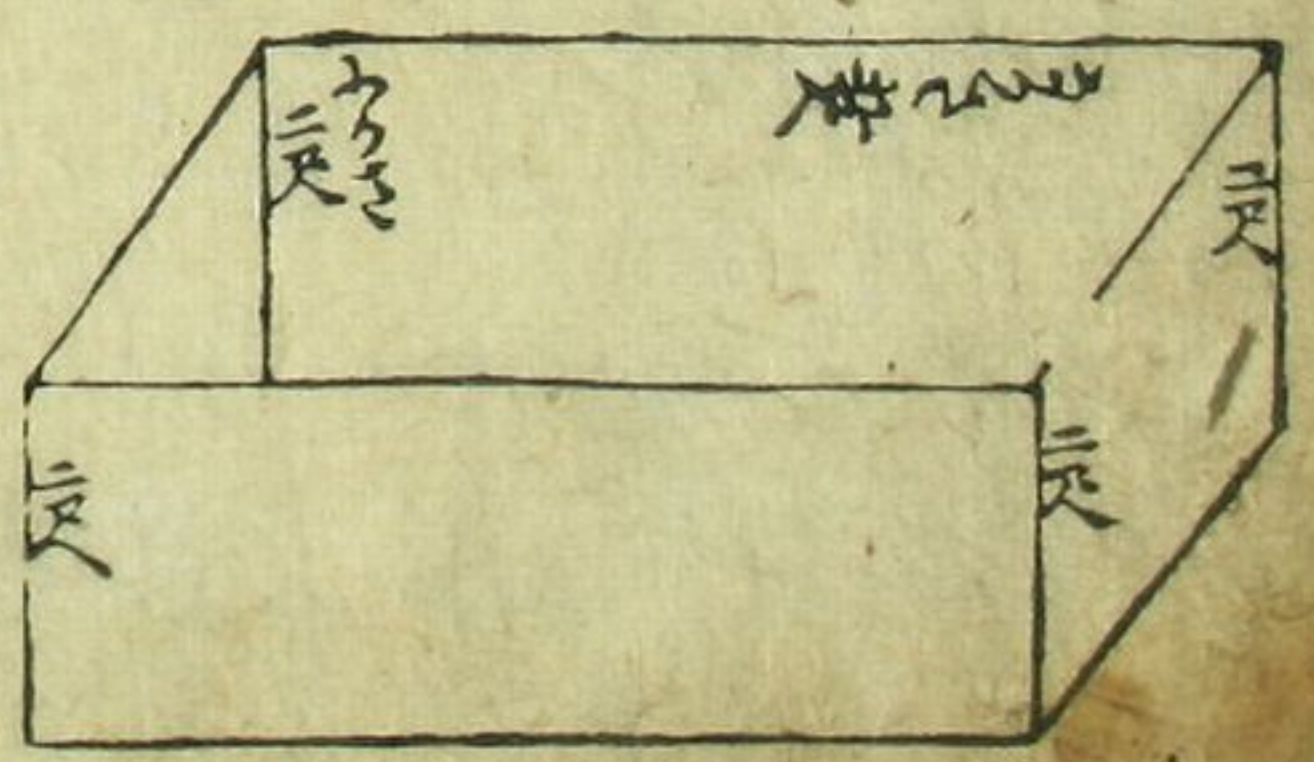
けまよりりりろと寸りりろり指のみまこの

算のなきやうよとハをくくろりあるこ

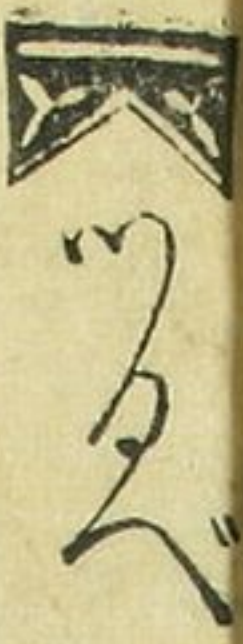
なせんたは倍とくくろりあり



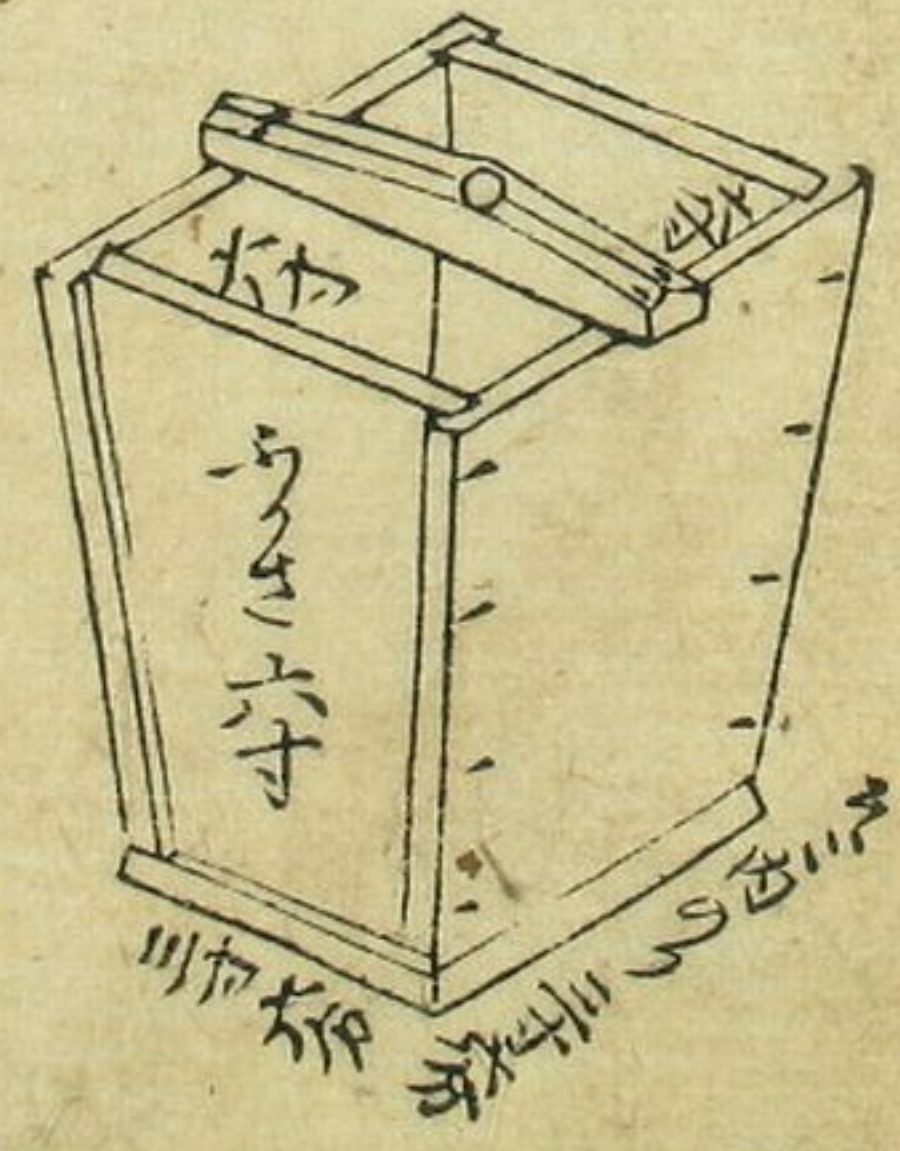
◯いま判て三石八斗五合五勺入
 ◯古ま守て三石二斗入



法よと受入り横二尺とくくれも
 十坪と成くれよ二尺とくくれば坪と成くれよ
 又とんま守の法六四八二七めて右の或坪を
 わりえ三石八斗五合五勺とさるへし
 又廿坪より十六とくれに三石二斗とさるへし
 又廿坪を六二五にしてわりてもさるへし



◯いま判て二斗一合三勺入
 ◯古ま守て二斗一合一勺入



法よ口六寸と下三寸五分と合九寸六分よる所
 これを二ツよより時よ四寸五分より板これを
 左右よ五かられ六寸の坪或百廿坪に分ゆし板
 是よ少とく六寸とくれば百廿坪二合四りと成
 こいよいま判ての法六四八二七て右と坪を
 二斗一合三勺とさるへし

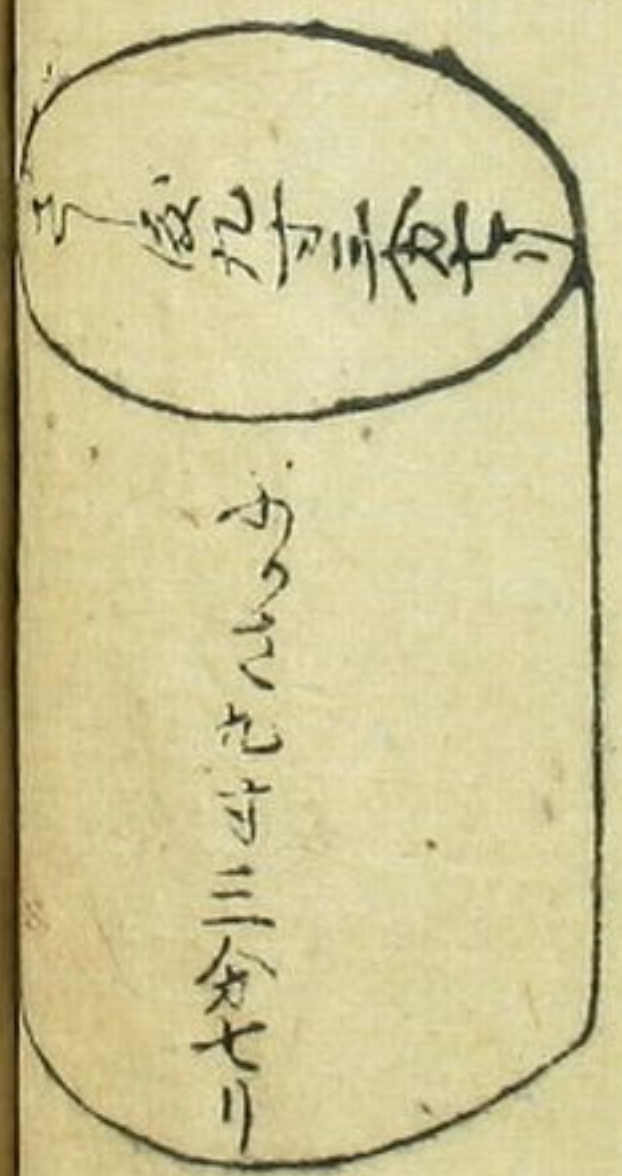
又百廿八坪二分四リ一十六とくらるともこよ
二末二合一夕入中しあるへし

右とさん大くこよ垂時まめけり垂るめ
け四方よりそとすりりたるりのをみもこれ
さんのをきやうらそとまきこちぢひありと
但中界ハ口傳をくりあり



まのき斗もつ

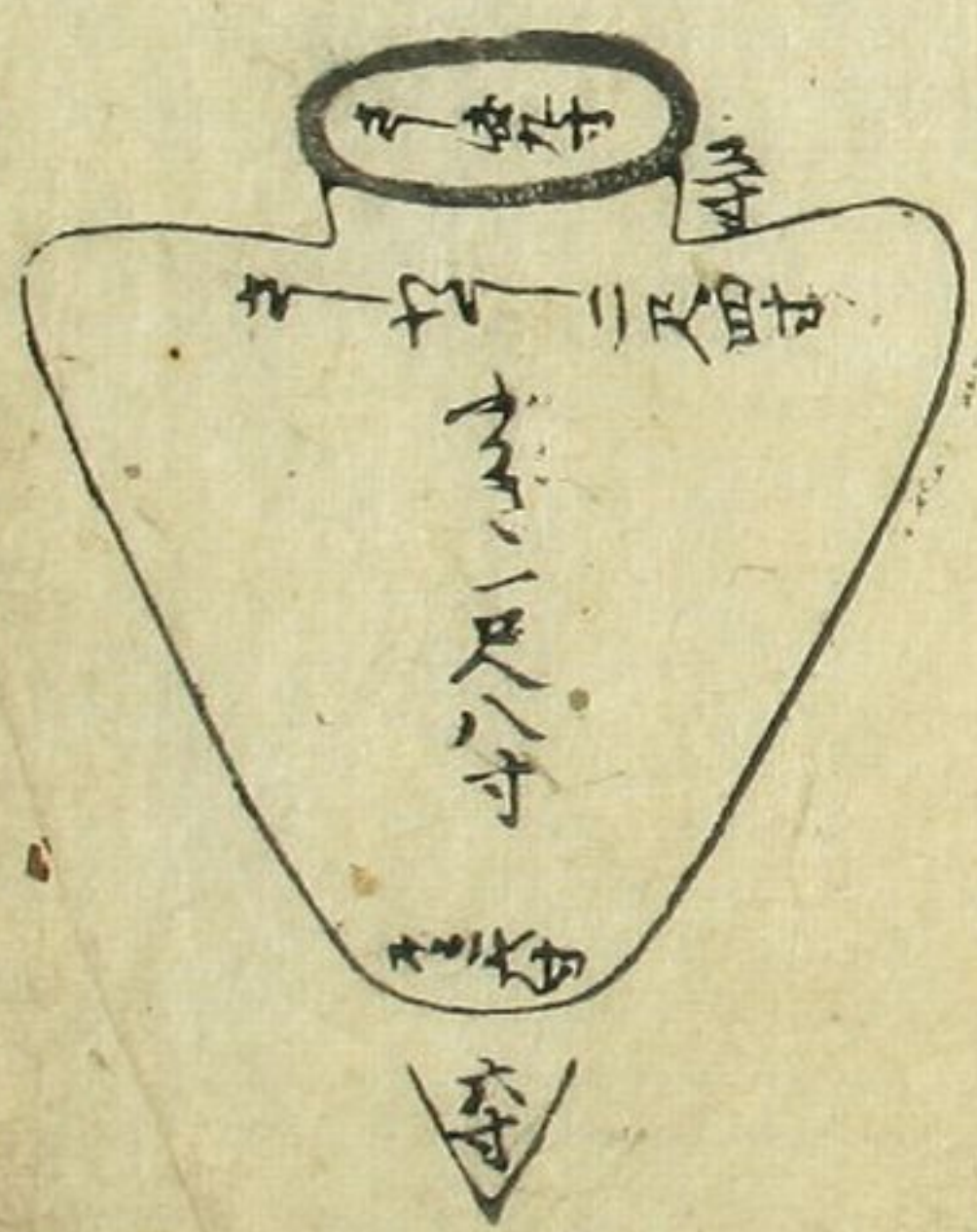
○き中入



はよまのき斗りわこ九寸三分七リを右に
おきおけてあはよあつさぬ寸三分七リくけて
又まのき斗七九とくくぬこぬとらま殊の法
六四八二七にておぬを平くよあはこくあまわ
あつなり



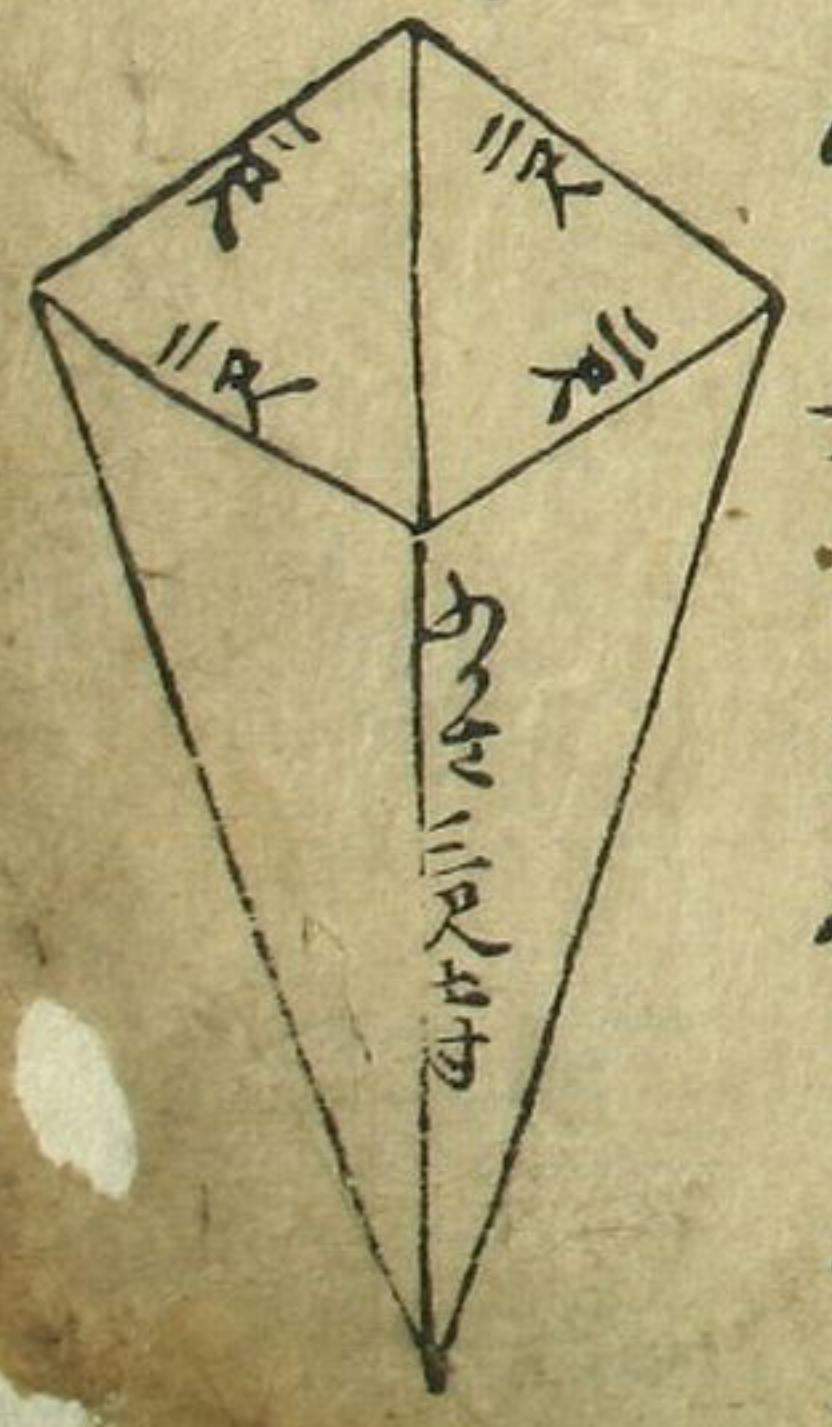
○お中合入



はよまのき斗りわこ九寸三分七リを右に
おきおけてあはよあつさぬ寸三分七リくけて
又まのき斗七九とくくぬこぬとらま殊の法
六四八二七にておぬを平くよあはこくあまわ
あつなり

一尺八寸五分のとりり六寸をうまう時り
 二尺四寸とるりこれを右の五七六よりくれば
 一三八二四と数は三三三三三三三三三三
 とぬこれより四法八をくれば三六四九五三六
 たりこれよりむり一より一の法十六をくれば
 むの八束四合よりこの口ぬ寸を右より一五
 うくれば八一とぬこれより三寸をかくれば二四三
 よりは是より一四法八をかくれば一九四四と版
 是よりま寸の法十六をくれば一四三三三三三三
 右より二口合六寸五分合きうけ内をたこの
 とづりを引てもうかこ六寸九分より五寸九分三六
 とぬ是より少き六寸をうくれば二一六わし册
 ころよ三三三三三三七一八とぬ是よりまの法
 八をくれば五七下二四とぬこれよりま寸の法
 十六をくれば一タより右より六寸五分合
 きたの内をぬ合一タ引りおそ六寸五分とぬ

七斗の中ぬ合ぬタニ戈入



法二尺を左右にをきかくれと面と板は
 あつた三尺五寸をうけて一四とろりこれり
 三三三とろり山四六六二と板又びり一殊の法
 十六とろりろりともま七斗字束めつぬ又ニ支と
 あり

牙世

ひやうぶよき重つりりれ事

二敷ひやうぶのさき板とも二尺ありぬらて
 よこ板ありこれり一四寸の金をくたふれと
 入がこりやまきり

〇面り指七敷中入



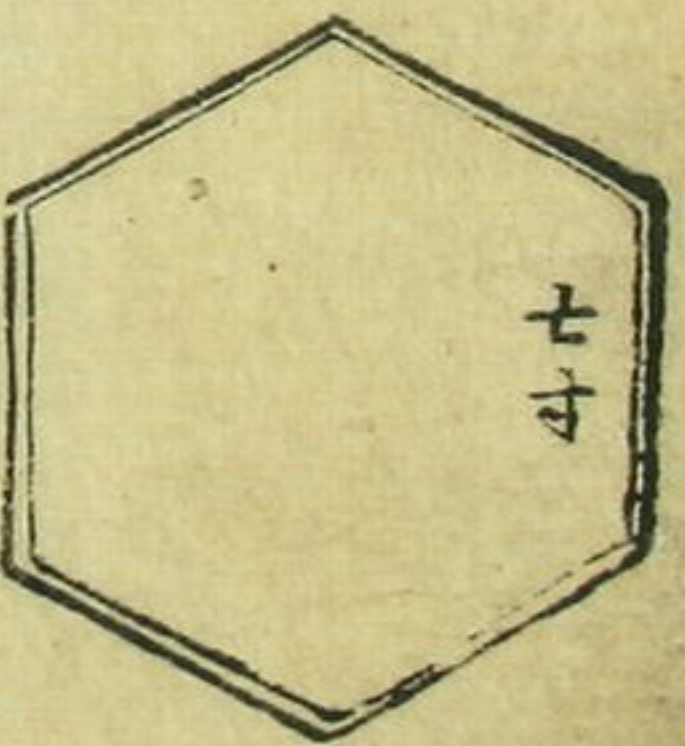
法よ五尺よ六尺をろり山つ寸の坪三千坪よ板
 こ山を四寸板の坪か寸十六にして目ろり山つり
 百半七敷中とまろりかのきよわんを一わらも
 ニわらも入ろりろりれもきよよわらし大ろり
 めけやしあり

六角ろり抽の角れをもて七寸つあるとまきり
 こりよ三寸の金をくまきり時よき

入るやせとう時り

○一寸坪百廿七坪三分あり

○三寸敷十四敷ア金四り入



はよ七寸と左右よをきくくは四九と成あはよ
六角乃法二五九八くは百廿七坪三分二毛を
これと三寸為れ法九坪よてわはえ三寸のもく
十四まい一分四りとあはべし

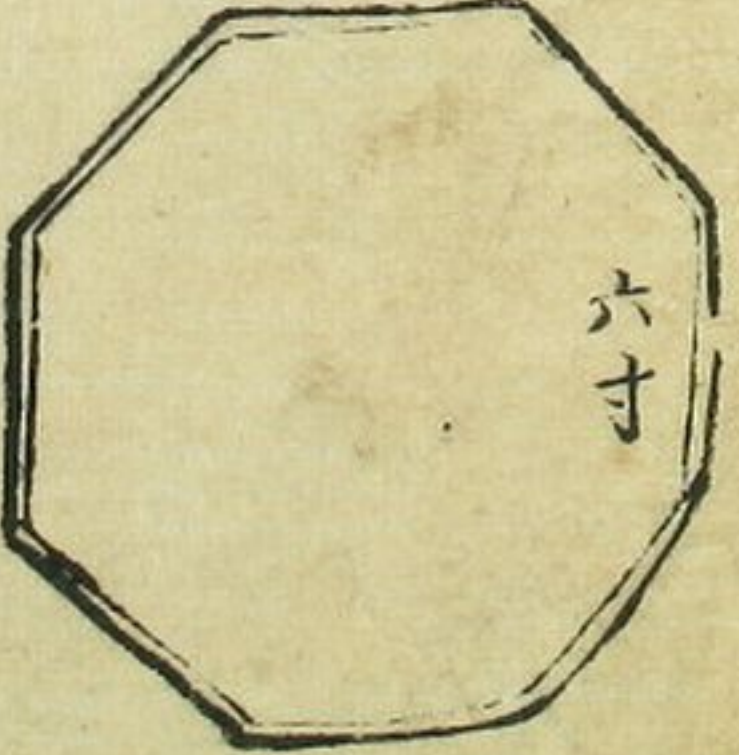


八角のともて方寸ツ 五時あまふ三寸の金敷

かふれ入ることうときり

○二寸坪百七拾三坪三分三りあり

○三寸もく十九敷三分一り入こ



はよ六寸と左右よをきくくは三六と成あはよ
二とくは七二とぬ芒と八角の法四一四二で
はれは百七十三坪三分三りとあはこ又これを
九はてはる時十九敷三分一りとあはこ
右にきん用こめけよとせかえをい合へし



四寸為千五百敷と三寸よまきりてなふ

とくはきり

○三寸為二千六百六拾六枚六分六厘と云ふ
 是は四寸と左右よと云ふは小の十六坪より大
 小は四寸為千五百まいと云ふは二万四千坪よ
 うらなりの小を右よりべちよ垂たの又またしよりよ
 三寸と左右より垂たてうらなれ九坪は成是よと
 右の二万四千坪を刻きて二千六百六十六枚六分
 六厘と云ふへし

水世

河海善治の事

一は堤の坪敷るふりてを向むかう

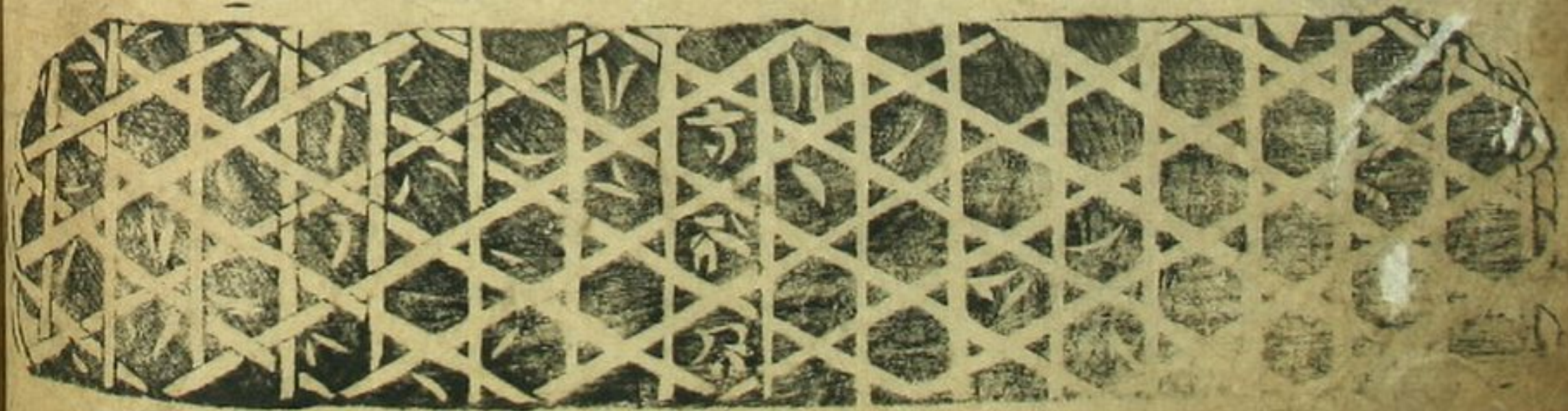
百廿六坪ありと云ふ

是は下りより上りありと云ふ
 くらゐの時合八町は成は小の三町は
 わしに成るはよりいしは二町に成るは
 うらなりの八坪と成るはよりうらな
 十七町と云ふは百廿六坪と云ふ

一ドヤウニハはゆりの事

四坪ニ合七又入

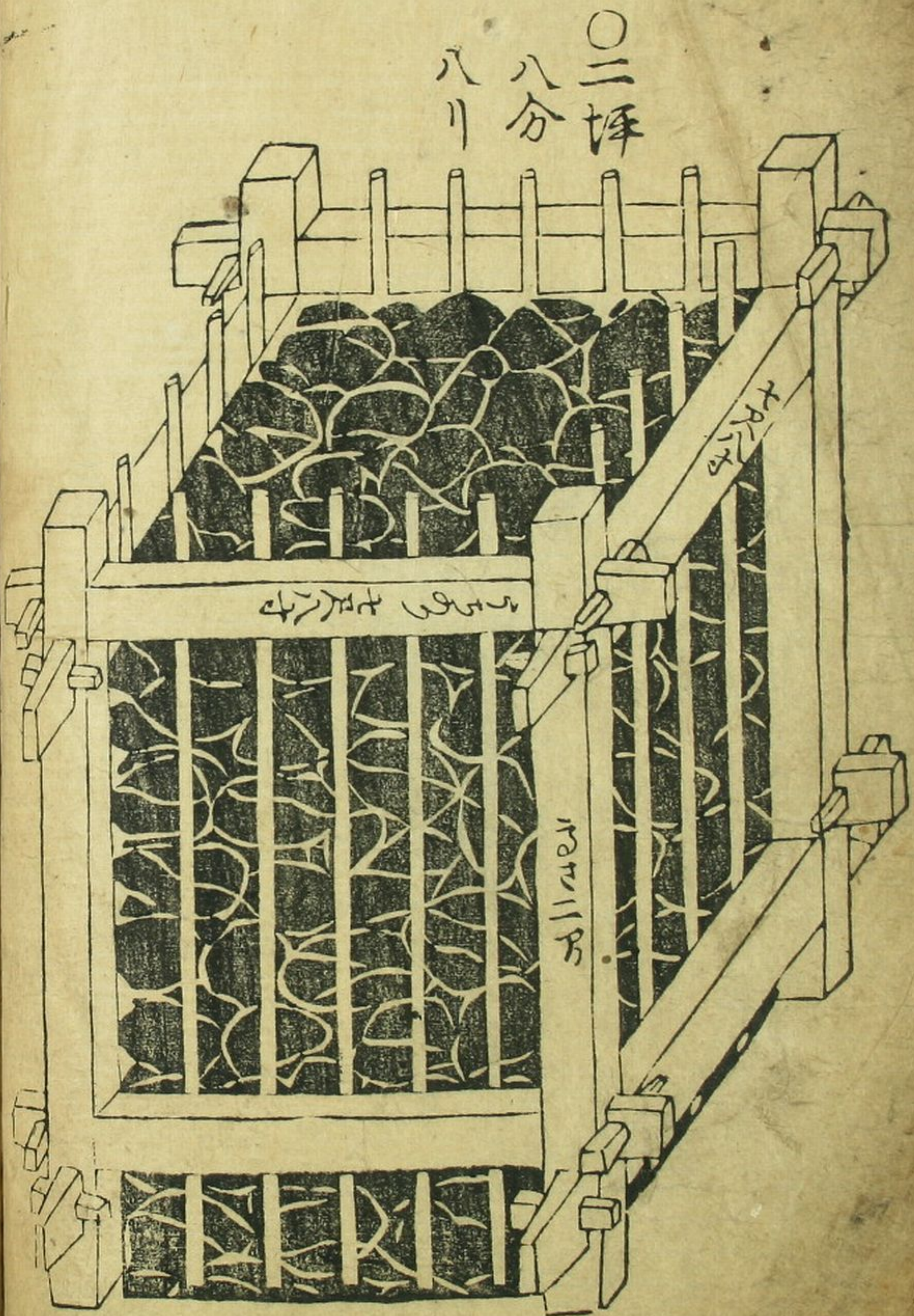
法ふぬえと丸右よ垂ゆるくくぬい
二めとぬとぬよまのぬい法七ぬと
うくぬい一ぬ七ぬとろくこぬり
もとぬぬとぬぬい一七七七五ぬ
これとぬ二二五にそりぬり
四坪ニ合令七又とちる人



〇二坪入

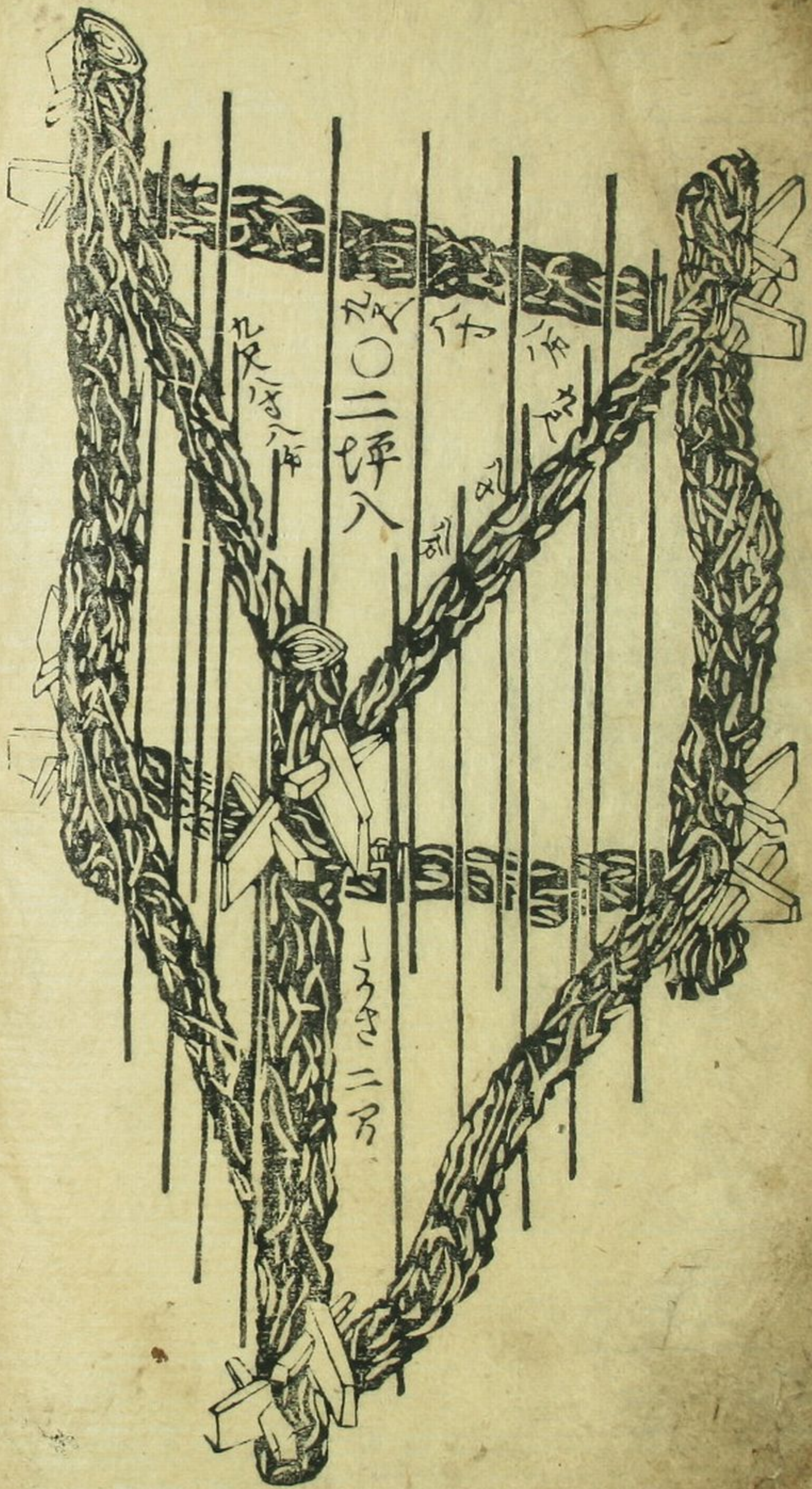


法よ申るるを丸右よ垂ゆるくくぬい二坪よぬ
こぬりぬぬとぬぬ二けんとぬぬい二坪と
ちる人し



法は...の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



法一ノ九尺八寸八分を左右よ垂くくろりとまよ
 九七六一四四とならあはく角法四三三ろくはハ
 四二二六七下三五二とぬくれりきさ二万を
 うるは八四五三四下七下四とぬくれを平様法
 四二二五にそよは二坪とちるべし

ありふきんわりれ事

ありのろがきと百り指三万りよと十五万り
 あつさ二万さけ坪敷るふりどありとぬれ
 〇一万千世百の粉坪るといふ

法よ二首八十三尺よ十五尺をかくれ八五千七百
四拾五坪よろろ是より少るさ二尺をかくれハ
一万千四十九坪法よとをかくる
ありの七四百四ひろさ五尺と少るさ二尺二尺
計坪か寸何れとをかくる

○四千六百十五坪と分りきむしりか

法よ二尺二尺と右よ垂てけ二尺りりりよ六尺
五寸りりハ一丈五尺とぬあふひろさ五尺
ろくろ七五とろり是よ七四百けしをくくは計
二とぬこれと六尺五寸めてはより計は四千六百

十五坪と分りやあるべし
○又法よしり
二尺二尺とろり二尺をりりとち尺五寸よと
ありの七四百三下七六九とぬこれよ五尺を
かけ又ながさ四ろけしをくろり計四十五百
十五坪と分ハリとをかくる

ありの七四百りりひろさ五尺三尺よ少るさ
二尺二尺五寸計坪をふれとをかくる

○五千四拾一坪と分りありしり

法よ二尺二尺と右のどく二尺よ六尺五寸と
ろくろハ一丈め尺とろり○又五尺三尺よも五尺

むかりよ六五とくくハ三丈ぬ尺みすよ成是を
 一丈五尺よりくれも五三二五と成くハよとさ
 四百五をくく成時二一三と成これと四二二五
 してよれハ五十四十一坪四合ヲメおとさるこ
 又二一三と六五にして二くびわめても同く
 りりのろがさ四百五尺よひろき五尺三尺と
 あらさ二尺二尺を時け坪敷何れどさかとも

五千一拾一坪一合きタることいふ

四百五をくく成時二一三と成これと四二二五
 してよれハ五十四十一坪四合ヲメおとさるこ
 又二一三と六五にして二くびわめても同く

さしてこれとをよあけて又少くとも一丈五尺よ
 るて右よよくハ一三八七一六二五とくり
 是と右よ別よ五又右よ坪の法二七四六二五と
 してこれにて右とまら時り五千五拾一坪
 一合きタ中 あり



五千坪の時りりり口のひろき五尺よ一
 二万をりして右の五千坪れろがさよ同時

○かかきやうちよ成といふ

はよ五尺と二尺をよくくして十二坪をくり
 くれに成り五千坪をよれとさるへし

但八とくりてもさうおとまればし

又五千坪の時と四百坪よりひろき五坪に
おんまの五千坪はあまのささ

○あまの二万坪とさ

はよまきさお白けんよ五万をかくれに二千坪と
これらに五千坪をまれの二万坪とさるへし
りりのまの四百けんひろき五万あまの二万坪

あつちりとうめたきとまのへしけうめはちよ
まの百の積りよひろき二万あまの二万の積り
ありてはまのささるへしけうめはちよ

○一尺二尺ハ寸六分ハ寸とさ

法り一をさるへし拾りよひろき三万をかくれハ
千四ろ四拾坪とぬれよあまの二万とるれを
二千の百の千坪とぬれよ右よべちりてをま
又ひじりよまのささるへしけうめはちよ
うろの二千坪とぬれよ右よ二千八百八十坪を
まの二万四四とるりけ四四とるり
まのぬ時よ六尺五寸をさるへし二万二尺八寸
おんまのささるへし

又右のりけにめし時よまの一方とるりめて

ゆ... まる... 時

○方... 二尺六寸... あり

はよひろき... 二万... 坪

る... 二千八百八十坪... 坪

四と... 四... 六尺五寸... 坪

二尺六寸... 坪

塵劫記... 終



久...

これは寛永四年の序を有する

五卷本塵劫記の

卷之三(完本)

卷之四(完本)

である。

昭和十四年十二月 小倉金之助



